

事務事業評価報告書

令和5年3月

山武市

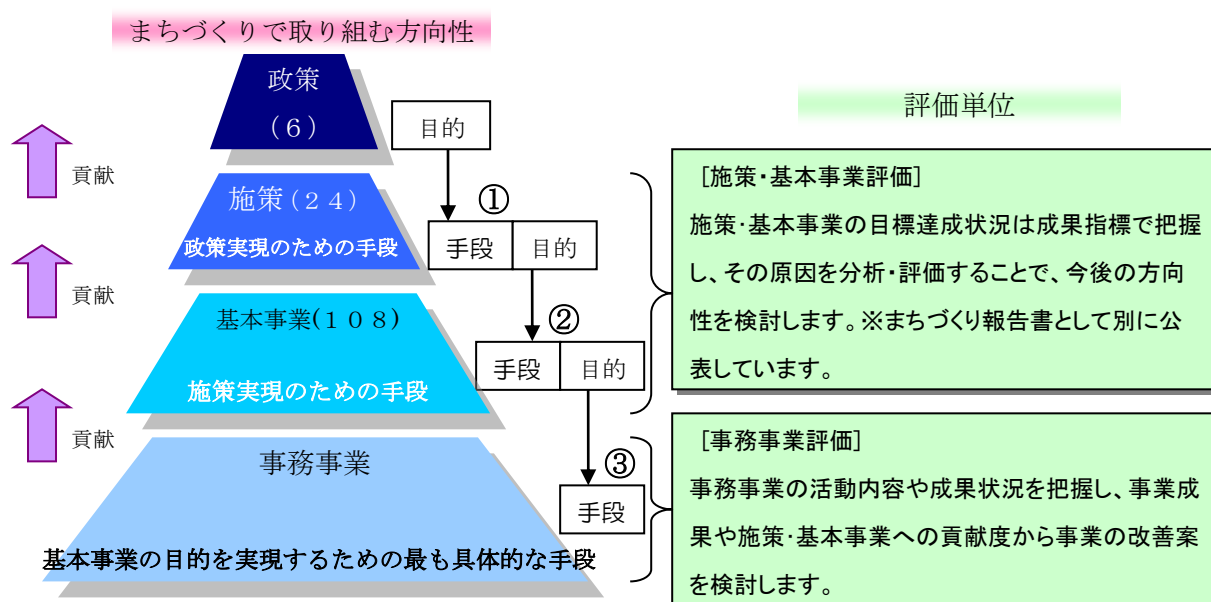
1 事務事業評価報告の基本的な考え方

(1) 施策体系の中での事務事業の役割

山武市総合計画の施策体系の設定にあたっては、まちづくりで取り組む方向性を6つの「政策」にまとめ、この実現のための手段として24の「施策」を設定し、さらに施策を108の「基本事業」に分類し、この目的達成のための事業実施の最小単位として「事務事業」を位置づけています。

総合計画は、この政策—施策—基本事業—事務事業という施策体系のもとで推進するものとしており、この施策体系はそれぞれの階層の間で、目的と手段の関係にあることを前提としています。

● 総合計画の施策体系と評価単位



- ① 施策は、上位の政策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の基本事業の目的となっています。
- ② 基本事業は、上位の施策を実現するための具体的手法(手段)であり、下位の事務事業の目的となっています。
- ③ 事務事業は、上位の基本事業の目的を達成するための最も具体的な手段となっています。

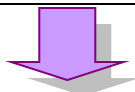
このことは、施策体系のそれぞれの階層は、そのすぐ上位の階層に貢献しなければならないと言い換えることもできます。

個々の事務事業は、それぞれの属する基本事業に必ず貢献していなければならない、貢献の度合いが低い、あるいは貢献度のない場合は事務事業を継続する理由が希薄になるということを意味します。

(2) 事務事業評価の組織決定について

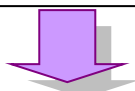
① 事業課の評価（1次評価）

事務事業を実施する担当課自らが評価者の視点に立って行う評価。



② 全庁視点での評価（2次評価）

1次評価結果をもとに、行政評価推進事務局（総務課・財政課・企画政策課の合同組織）と担当課で点検会を実施し、行政評価推進事務局が全庁的視点を持って行う評価。



③ 評価結果の決定・反映

1次評価、2次評価の結果に基づき、市長を含めた部長以上で市としての方向性を決定。

(3) 事務事業評価の報告

今回報告する事務事業評価は、令和3年度に実施した事務事業のうち、上位施策・基本事業への貢献度が高い主要な事業である計 123 事業について公開します。

具体的には、「実施計画 2021」、「令和3年度決算における主な事業」及び「行政改革関連事業」等に位置付けられている事業の中で、成果指標が設定されているものを中心に選定しています。

■ 令和3年度の事務事業評価結果

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
1 暮らしを支える快適なまちづくり					
	1 地域核をネットワークする都市整備の推進				
	1 道路網の整備・維持管理				
			作田川関連市道整備事業	土木課	8
			避難道路整備事業	土木課	9
			成東259号線道路改良事業	土木課	10
			上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	11
			蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業	土木課	12
			橋梁長寿命化修繕事業	土木課	13
			緑海239号線道路改良事業	土木課	14
	2 成田空港周辺地域としての基盤整備				
			成田空港周辺対策道路・水路整備事業	土木課	15
	3 浸水対策の推進				
			松尾駅周辺排水対策事業	土木課	16
	6 まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用				
			地籍調査事業	土木課	17
			空家等対策事業	都市整備課	18
	99 施策の総合推進				
			都市計画基礎調査事業	都市整備課	19
	2 公共交通網の整備・充実				
	1 市内における交通手段の確保				
			身近な公共交通確保事業	企画政策課	20
	2 バスでの主要都市へのアクセス向上				
			空港シャトルバス利用促進事業	空港地域振興課	21
	3 防災・減災対策の推進				
	1 地域防災力の向上				
			自主防災組織育成事業	消防防災課	22
	3 防災意識の向上				
			防災訓練実施事業	消防防災課	23
	4 消防力の充実				
			消防ポンプ車等整備事業	消防防災課	24
	99 施策の総合推進				
			地域防災計画改定事業	消防防災課	25
2 住みやすい環境と安全なまちづくり					
	1 生活環境の充実				
	2 美化運動の推進と不法投棄防止対策				
			不法投棄パトロール事業	環境保全課	26
	3 航空機騒音等の対策				
			航空機騒音障害防止対策費交付事業	空港地域振興課	27
			航空機騒音対策空調機器設置事業	空港地域振興課	28
	3 自然環境の保全				
	4 再生可能エネルギー対策の推進				
			省エネルギー等対策事業	環境保全課	29
	5 汚水処理の推進				
			浄化槽設置支援事業	環境保全課	30
	5 防犯・交通安全の推進				
	3 犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備				
			防犯灯維持管理事業	市民自治支援課	31
	4 消費者トラブルの防止				

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ	
			消費生活相談事業	商工観光課	32	
3 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり						
	1 農林水産業の振興					
		1 経営の安定化の推進				
			経営所得安定対策推進事業	農政課	33	
		2 担い手の育成・支援				
			認定農業者育成事業	農政課	34	
		地域農業経営支援事業	農政課	35		
		5 農業基盤整備の推進				
			農業水路等長寿命化・防災減災事業	農政課	36	
		ほ場整備事業	農政課	37		
		6 森林再生の推進				
			県単森林整備事業	農政課	38	
		災害に強い森づくり事業	農政課	39		
		99 施策の総合推進				
			農業委員会運営事業	農業委員会事務局	40	
	2 商工業の振興と地域経済活性化					
			1 市内消費の向上			
				プレミアム付商品券事業	商工観光課	41
			2 経営体の体質強化・育成			
				エコノミックガーデニング推進事業	商工観光課	42
			3 企業立地と企業定着による雇用の推進			
				企業誘致促進事業	企画政策課	43
	3 観光の振興					
			2 海岸を活用した観光推進			
				海水浴場維持管理安全対策事業	商工観光課	44
				美しい海水浴場次世代継承事業	商工観光課	45
			3 観光情報の発信			
				観光PR事業	商工観光課	46
	4 だれもが生きがいをもち安心して暮らせるまちづくり					
		1 高齢者福祉の充実				
			3 安心・安全な生活への仕組みづくり			
				緊急通報ネットワーク事業	高齢者福祉課	47
2 障がい者(児)福祉の充実						
		1 自立支援サービスの促進				
			障害者自立支援事業	社会福祉課	48	
		4 児童発達支援の充実				
			障害児通所等支援事業	社会福祉課	49	
3 健康づくりの推進						
			1 心身の健康管理の充実			
				新型コロナウイルスワクチン接種事業	健康支援課	50
			3 母子の健康管理			
				小児予防接種事業	健康支援課	51
			4 医療体制の充実			
				地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業	健康支援課	52
			99 施策の総合推進			
			成東保健福祉センター施設管理事業	健康支援課	53	

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
	4 子育ての支援				
		1 幼保機能の充実			
			ちびっこ国際交流事業	子育て支援課	54
			こども園施設整備事業	子育て支援課	55
		3 子育て家庭への援助			
			子ども医療費助成事業	子育て支援課	56
			高校生等医療費助成事業	子育て支援課	57
			子育て世帯等臨時特別支援事業	子育て支援課	58
		4 こどもの人権の尊重			
			移住定住促進事業	企画政策課	59
			三世帯同居等支援事業	企画政策課	60
	5 地域福祉の充実とセーフティネットの推進				
		3 生活困窮者自立支援の充実			
			生活困窮者自立相談支援事業	社会福祉課	61
			住民税非課税世帯等臨時給付金給付事業	社会福祉課	62
		4 生活保護制度の適正な実施			
			生活保護者扶助事業	社会福祉課	63
	5 生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり				
	1 学校教育の充実				
		1 「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進			
			英語教育推進事業	子ども教育課	64
			学力向上支援事業	子ども教育課	65
		4 ICT教育の実践			
			ICTサポート事業	子ども教育課	66
		5 教育環境の整備			
			小中学校閉校・開校事業	教育総務課	67
			小学校施設整備事業	施設整備課	68
			中学校施設整備事業	施設整備課	69
			松尾小学校新校舎整備事業	施設整備課	70
			小学校施設改修事業	施設整備課	71
			中学校空調設備改修事業	施設整備課	72
			中学校施設改修事業	施設整備課	73
			成東学校給食センター施設管理運営事業	学校給食センター	74
			学校給食センター施設整備事業	学校給食センター	75
		6 地域と学校の協力体制の推進			
			地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業	子ども教育課	76
			コミュニティ・スクール推進事業	子ども教育課	77
	2 生涯学習の推進				
		2 生涯学習施設の利用促進			
			成東文化会館改修事業	文化会館	78
			成東中央公民館施設管理運営事業	公民館	79
			松尾公民館施設管理運営事業	公民館	80
			松尾図書館運営事業	図書館	81
			さんぶの森公園改修事業	運動公園管理事務所	82
		3 文化財の保護・活用			
			食虫植物群落保護管理事業	歴史民俗資料館	83
			伊藤左千夫顕彰事業	歴史民俗資料館	84

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ	
		5 青少年の育成				
		成人式開催事業	生涯学習課	85		
		少年海外派遣支援事業	生涯学習課	86		
		山武市青少年派遣事業	生涯学習課	87		
		99 施策の総合推進				
		生涯学習振興大会開催事業	生涯学習課	88		
		3 スポーツの振興				
		1 スポーツ活動の充実				
		スポーツ協会補助事業	スポーツ振興課	89		
		3 体育施設の利用促進				
		松尾運動公園管理事業	運動公園管理事務所	90		
	4 人権尊重のまちづくり					
		1 人権教育・人権啓発の推進				
		子ども人権(CAP)事業	子ども教育課	91		
		2 人権擁護の推進				
		人権相談事業	市民自治支援課	92		
	6 市民と行政が協働してつくるまちづくり					
		1 協働と交流によるまちづくり				
		2 市民活動の活性化				
		地域まちづくり事業	市民自治支援課	93		
		3 市民活動施設の利用促進				
		コミュニティ施設整備支援事業	市民自治支援課	94		
		5 東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進				
		事前キャンプ実施事業	企画政策課	95		
		2 開かれた市政とまちの魅力発信				
		1 情報発信力の充実				
		広報さんむ作成・発行事業	秘書広報課	96		
		ホームページ運営事業	秘書広報課	97		
		さんむの魅力発信事業	秘書広報課	98		
		3 議会情報の公開の推進				
		議会だより作成事業	議会事務局	99		
		議会改革推進事業	議会事務局	100		
		3 計画的・効率的な行財政運営				
			1 行政経営の推進			
			行政評価制度推進事業	企画政策課	101	
			2 人材育成と効率的な組織運営			
			職員研修事業	総務課	102	
			人事評価事業	総務課	103	
			組織体制見直し事業	総務課	104	
			定員適正化推進事業	総務課	105	
			ワークライフバランス推進事業	総務課	106	
			3 健全な財政運営			
			指定管理者指定事業	企画政策課	107	
			予算管理事業	財政課	108	
			基金管理事業	財政課	109	
			4 税収の確保			
	市税等徴収事務事業		収税課	110		
	債権回収事業		収税課	111		
	法的債権回収事業		収税課	112		

政策	施策	基本事業	事務事業名	担当課	ページ
		5 公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進			
			学校等跡地活用検討事業	企画政策課	113
			本庁舎整備事業	財政課	114
			公共施設マネジメント事業	財政課	115
			さんぶの森交流センターあららぎ館施設管理事業	山武出張所	116
			蓮沼出張所管理運営事業	蓮沼出張所	117
		6 情報化の推進と適正管理			
			電子自治体構築事業	総務課	118
		99 施策の総合推進			
			例規・法制支援事業	総務課	119
	4 公正確実な事務の執行				
		1 適正な会計処理			
			出納係事務費	会計課	120
		3 監査の充実			
			監査委員事務局事務費	監査委員事務局	121
			監査委員活動費	監査委員事務局	122
		5 窓口サービスの向上			
			受付案内事業	総務課	123
			戸籍事務費	市民課	124
			窓口サービス向上事業	市民課	125
			山武出張所事務費	山武出張所	126
			蓮沼出張所事務費	蓮沼出張所	127
			松尾出張所事務費	松尾出張所	128
		6 公平・公正な課税			
			個人住民税賦課事業	課税課	129
			固定資産税賦課事業	課税課	130

事務事業名 作田川関連市道整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	平成 15 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 619

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

県河川改修事業で設置する管理用道路（幅員3m）の設置にあたり、市が隣接地（2m～4m）の用地確保を行うことにより県が管理用道路を兼ね市道整備を行います。
現在河川に架設されている橋梁の架替えに伴う工事及び市道整備に関する負担金を県に納入します。
事業費 620,000千円（県への負担金）80,000千円（用地買収費）合計700,000千円
架替え対象橋梁数 8箇所、市道整備延長 5.28Km
市道整備箇所 山武市成東地先（加持橋）～山武市森地先（日向橋） 山武市成東地先（市役所脇）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
用地交渉回数	回	6	4	20
成果状況				
用地取得済面積	m ²	6,729.6	6,734.2	6,900

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	33,719	0	0	32,000	0	1,719	
03年度 実績	55,434	0	0	52,600	0	2,834	
04年度 当初	17,248	0	0	16,300	0	948	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 1筆取得できたが、全体の用地取得は進んでおらず、市道整備事業が遅延しています。

<原因> 千葉県主体の作田川改修事業であり、用地交渉が進んでいない事が原因です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	4.59	6.8	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	0	1	0

事務事業名 避難道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	平成 25 年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 1652

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

木戸川河口付近を含む緑海地区の海岸周辺市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海岸周辺市民の安全と命を守り、安心安全な生活環境の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

震災時に避難場所まで遠距離避難を余儀なくされる地域などに
住む人が、安全に避難するために、避難道路を整備します。
整備内容 延長＝2.95km 幅員＝8.0m（車道部）
総事業費 1,202,040千円
平成25年度 調査設計
平成26年度 調査設計、関係機関協議
平成27年度 用地買収、工事
平成28年度 用地買収、工事
平成29年度 用地買収、工事
平成30年度 用地買収、工事
令和元年度 用地買収、工事
令和2年度 用地買収、工事 令和3年度 用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
工事発注件数	回	3	1	0
関係機関(警察等)との協議回数	回	3	1	0
成果状況				
市道改良済延長	m	2,640	2,940	0
用地買収面積	m ²	8,299	8,503	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							126,144
03年度 実績							219,105
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
用地買収面積は、8,503㎡で順調に進んでいますが、一部用地交渉が難航しています。
＜原因＞
相続等に時間を要しているためです。令和3年度で事業は終了しましたが、引続き用地交渉は進めてまいります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	4.59	6.8	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	0	1	0

事務事業名 成東 2 5 9 号線道路改良事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	平成 25 年度 ～ 令和 06 年度			事務事業整理番号 1762

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。			
整備内容	延長1.2km	幅員12.5m	
総事業費	600,000千円		
平成25年度	交差点部詳細設計		
平成26年度	用地測量、設計、関係機関協議		
平成27年度	用地買収		
平成28年度	用地買収、工事	平成29年度	用地買収、工事
平成30年度	用地買収、工事	令和元年度	用地買収、工事
令和 2 年度	用地買収、工事	令和 3 年度	用地買収、工事
令和 4 年度	用地買収、工事	令和 5 年度	用地買収、工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
年度当たりの市道成東259号線道路改良延長	m	315	267	100
年度当たりの道路用地買収面積	m ²	30.49	0	420.19
成果状況				
市道成東259号線道路改良済延長	m	300	800	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	111,142	17,080	0	88,400	0	5,662	
03年度 実績	72,914	19,989	0	50,200	0	2,725	50,551
04年度 当初	70,024	25,000	0	42,700	0	2,324	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ● 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞道路改良済延長は267mです。
＜原因＞平成25年度から設計を行い、平成28年度から工事着手しました。一部の区間では路盤開放し、地盤を安定させています。成果は順調に上がっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	4.59	6.8	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	0	1	0

事務事業名 上横地・松ヶ谷線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ～ 令和 05 年度		
事務事業整理番号			1796

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東地区の海岸周辺市民
災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、木戸川河口の周辺地域を含む緑海地区と防災拠点である成東総合運動公園へのアクセス道路を整備します。
整備内容 延長=1.8km 幅員=10.5m
総事業費 359,000千円
平成26年度 用地測量、設計
平成27年度 設計、関係機関協議
平成28年度 工事発注
平成29年度 用地買収、文化財調査、工事
平成30年度 用地買収、工事
令和元年度 用地買収、工事 令和2年度 工事
令和3年度 工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
年度当たりの道路改良延長	m	800	0	320
関係機関との協議回数	回	2	3	3
成果状況				
市道改良済み延長	m	1,400	1,400	1,720

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	102,682	47,335	0	0	0	55,347	122,691
03年度 実績	37,337	4,865	0	25,200	0	7,272	38,618
04年度 当初	77,500	32,500	0	29,200	0	15,800	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>市道改良延長は0mです。
<原因>令和3年度は540mの完成断面の改良工事を行っていますが、令和4年度に繰越をしているため改良延長はありません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	4.59	6.8	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	0	1	0

事務事業名 蓮沼ホ・蓮沼イ線外防災ネットワーク道路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理
計画年度	平成 26 年度 ～ 令和 09 年度		
事務事業整理番号			1797

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東地区の海岸周辺市民
災害対応従事者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の日常の利便性が向上します。また、災害時の避難行動や救助活動等が迅速化されます。

事務事業の内容、やり方、手順

既存道路の拡幅等により、蓮沼地域（殿下・川下地区）から防災拠点である蓮沼避難タワーへのアクセス道路を整備します。
整備内容 延長=1.6km 幅員=10.0m
総事業費 452,000千円
平成26年度 用地測量、設計
平成27年度 設計、関係機関協議
平成28年度 工事着手
平成29年度～
令和2年度 用地買収、工事
令和3年度 工事
令和4年度 工事完了予定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
年度当たりの市道改良延長	m	0	142	100
関係機関との協議回数	回	2	2	2
成果状況				
市道改良済み延長	m	597	597	800

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	42,370	22,087	0	19,800	0	483	
03年度 実績	38,464	15,290	0	22,000	0	1,174	62,925
04年度 当初	105,951	41,877	0	60,800	0	3,274	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>市道改良延長は142mです。
<原因>令和3年度は別工事として390mの完成断面の改良工事を行っていますが、令和4年度に繰越をしているため、改良延長は少なくなっています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	4.59	6.8	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	0	1	0

事務事業名 橋梁長寿命化修繕事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1826

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

橋りょう通行者の安全が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市で管理する橋梁について、平成25年度に策定した長寿命化修繕計画に基づき計画的に補修工事を実施します。
道路交通の安全性を確保するため、目視等の点検を実施し、計画見直しを行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
年間橋梁修繕件数	件	1	4	6
成果状況				
橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数	件	0	0	0
年間の橋梁点検件数	件	39	115	184

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	71,674	35,750	0	21,100	0	14,824	
03年度 実績	89,553	44,793	0	18,000	0	26,760	
04年度 当初	84,597	39,014	0	16,100	0	29,483	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>道路・橋梁の管理瑕疵に起因する損害賠償件数は1件です。
<原因>道路の老朽化に伴い維持・修繕件数は増加傾向にありますが、道路パトロール、通勤等により道路状況の把握に努めました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	4.59	6.8	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	0	1	0

事務事業名 緑海239号線道路改良事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	道路網の整備・維持管理	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2069

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

道路利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅と歩道や側溝の設置により、道路機能を充実することで、利用者の安全と利便性の向上を図ります。
整備内容 延長0.3km 幅員12m
総事業費 175,000千円
令和元年度 地質調査、測量設計、用地測量
令和2年度 鑑定、物件調査、工事、用地買収
令和3年度 工事・用地買収
令和4年度 工事・用地買収

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
年度当りの市道緑海239号線道路改良延長	m	0	227	23

成果状況	単位	02年度	03年度	04年度
市道緑海239号線道路改良済延長	m	0	227	23

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,365	0	0	0	0	2,365	
03年度 実績	34,891	16,507	0	17,400	0	984	43,386
04年度 当初	67,225	25,000	0	40,100	0	2,125	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>市道の改良延長は227mです。
<原因>一部、相続に時間を要していますが、概ね順調に事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
道路の拡幅・改良・新設延長（計画期間累計）	Km	4.59	6.8	8
道路・橋りょうの維持管理上の瑕疵による損害賠償件数	件	0	1	0

事務事業名 成田空港周辺対策道路・水路整備事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	成田空港周辺地域としての基盤整備	
計画年度	平成 29 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成田空港周辺地域（松尾地区・蓮沼地区）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成田空港へのアクセス道路整備や、その整備の影響に伴う付帯施設の整備を行い、生活道路機能の充実と、安全・利便性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

道路の拡幅や側溝等の整備により道路機能を充実することで、道路利用者の安全と利便性の向上を図ります。
整備箇所 松尾地区・蓮沼地区
工事選定までの流れ
現地調査→工事箇所の選定
→地元協議→測量・調査→用地・補償→工事実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
市の管理する生活道路・水路の測量調査及び工事件数	件	41	38	30
成果状況				
工事延長	m	1,820	1,454	2,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	103,485	0	0	0	58,486	44,999	11,055
03年度 実績	84,074	0	0	0	84,074	0	22,076
04年度 当初	122,418	0	0	0	3,000	119,418	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>緊急性や重要性を勘案し、地元協力のもと工事を実施しております。
<原因>計画通りに事業が行われているため、成果としては順調に上がっているものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
成田空港関連事業実施箇所数（延べ）	箇所	76	114	48

事務事業名 松尾駅周辺排水対策事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	浸水対策の推進	
計画年度	平成 28 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 1902

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 浸水区域

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

浸水区域が減少し、浸水被害が低減されます。

事務事業の内容、やり方、手順

浸水被害状況及び浸水区域を把握し、実施設計により対策工法を検討し、浸水対策工事を実施します。	
平成28年度 基本設計	検討面積：151ha
平成29年度 実施設計	設計対象面積：46ha
	工事延長L=1,818m
	雨水貯留施設1基
平成30年度 対策工事	
令和元年度 対策工事	
令和2年度 対策工事	
令和3年度 対策工事	
令和4年度 対策工事	

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
浸水対策工事実施延長	m	0	344	873
			0	
成果状況				
浸水面積	ha	46	46	46

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	132,957	0	0	34,200	98,112	645	605,222
03年度 実績	99,065	0	0	94,100	0	4,965	156,459
04年度 当初	669,813	0	0	636,300	0	33,513	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 松尾駅周辺排水対策事業スケジュールにより水路整備工事を2件発注しました。
<原因> 工事実施延長の実績は344mです。 周辺住民のご理解、ご協力を得て事業の遂行ができています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
床上浸水件数	件	0	0	0

事務事業名 地籍調査事業

建設環境部 土木課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用
計画年度	平成 07 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 635

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市域の土地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

土地の所有者・地目・境界・面積等が明確になり、正確な土地の実態が登記簿と公図に反映されます。

事務事業の内容、やり方、手順

土地一筆ごとにその所有者、地番、地目、境界の調査を行い、測量を実施することにより、正確な地図「地籍図」と簿冊「地籍簿」を作成します。
・土地調査（公図・登記簿の閲覧）
・説明会の開催
・一筆地調査
・一筆地測量・地積測定
・土地所有者による閲覧
・国・県の認証
・地籍図と地籍簿を法務局へ送付
・固定資産税に係る賦課資料を課税課へ送付

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
説明会開催回数	回	0	0	1
立会い調査回数	回	372	317	320
成果状況				
地籍調査実施面積	km ²	0.82	0.85	0.78
地籍調査後の法務局に送付した筆数	筆	697	0	849

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	42,312	0	22,573	0	78	19,661	
03年度 実績	36,418	0	20,051	0	115	16,252	
04年度 当初	48,112	0	17,682	0	109	30,321	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞説明会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催としました。立会い調査については、当初計画どおり順調に進めることができました。法務局への送付は、当初予定していた椎崎（8）地区の成果が送付できませんでした。
＜原因＞法務局送付の遅延理由としては、椎崎（8）地区の県検査に不測の日数を要し、認証申請手続きが遅れたためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
空家対策数（計画期間累計）	件	27	47	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 空家等対策事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	06	基本事業名	まちなみ・家屋・土地の適正管理と有効活用	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1999

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、空家等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市空家等対策計画に基づく空家等対策事業の実施により、空家等が適正に管理されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空家等対策計画に基づき以下のとおり空家対策を実施しました。

- ①空家の発生抑制・予防
・啓発事業の実施、現地調査、助言書の通知
- ②管理不全の解消
・特定空家等の認定及び指導等の実施
- ③利活用・市場流通の促進
・空き家バンクの運用、啓発事業の実施
- ④その他
・空家等対策協議会の開催

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
空家対策協議会の回数	回	1	2	2
空家への通知、指導数	件	71	62	50
成果状況				
空家の相談件数	件	76	102	50
特定空家の認定数（累計）	件	5	8	10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,328	0	0	0	0	2,328	
03年度 実績	5,892	0	0	0	0	5,892	
04年度 当初	12,261	4,490	0	0	0	7,771	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>空家の相談件数は102件で、前年度と比較して26件増加しています。特定空家の新規認定数は3件で、累計認定数は8件となり事業進捗は概ね順調です。

<原因>少子高齢化、人口減少の進展により市内の空家が増加傾向にあり、空家の増加に比例して相談件数も増加しています。今後も空家及び相談件数の増加が予想されるため、空家の発生抑制に係る啓発を継続的に実施していく必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
空家対策数（計画期間累計）	件	27	47	66
景観条例指導件数	件	0	0	0

事務事業名 都市計画基礎調査事業

建設環境部 都市整備課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	01	施策名	地域核をネットワークする都市整備の推進	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	令和 03 年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 1478

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民等（都市計画によるまちづくり）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

都市の健全な発展により、暮らしやすいまちの方向性を定めるため、都市計画の立案、計画策定に向けての基礎調査を行います。

事務事業の内容、やり方、手順

都市計画法に基づき、人口規模、就業人口規模、市街地の面積、土地利用等について、現況及び将来の見通しなどを調査しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
都市計画基礎調査の調査項目数	件		10	-

成果状況	単位	02年度	03年度	04年度
県への報告調査項目件数	件		10	-

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	1,430	0	1,430	0	0	0	
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>都市計画基礎調査を行い、令和4年3月末に県へ報告し、業務を完了しました。

<原因>県へ報告する都市計画基礎調査の調査項目は10項目あり、調査方法やスケジュールを検討のうえ実施しました。また、調査内容の一部は現地調査を実施する必要があり、調査対象範囲が広大のため、外部委託により実施し、遅延のないように進めたためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値

事務事業名 身近な公共交通確保事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実	
基本事業番号	01	基本事業名	市内における交通手段の確保	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 102

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 交通弱者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

日常生活の移動手段が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

・山武市地域公共交通活性化協議会へ補助金を交付し、協議会運営、基幹バス及び乗合タクシーの運行等を実施 ・令和3年度から基幹バスの蓮沼・松尾循環路線の実証実験運行、乗合タクシーの地域外運行を実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
基幹バス・乗合タクシー年間運行延回数	回	40,816	40,527	40,100
成果状況				
基幹バス・乗合タクシー1日当たりの利用者数	人	205	218	238

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	100,190	8,148	1,000	0	6,664	84,378	
03年度 実績	126,820	0	0	0	0	126,820	568
04年度 当初	106,920	0	0	0	0	106,920	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 基幹バス・乗合タクシーの年間運行回数は、前年度と比べ289回減少し、約1%低下しました。また1日あたりの利用 者数は、前年度と比べ13人増加し、約6%増加しました。
＜原因＞ 1日あたりの利用者数の増加については、乗合タクシーの区域外運行を令和3年10月から開始したことにより、利用 者の利便性が向上したことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市内移動の交通手段に困っている市民の割合	%	35.8	36.5	35.8
基幹バスの年間利用者数	人	34,640	38,792	48,000
乗合タクシーの年間利用者数	人	39,131	39,822	47,000
バス運行状況の満足度	%	38.4	41.8	39

事務事業名 空港シャトルバス利用促進事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり
施策番号	02	施策名	公共交通網の整備・充実
基本事業番号	02	基本事業名	バスでの主要都市へのアクセス向上
計画年度	平成 13 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 105

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民 芝山鉄道延伸連絡協議会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内と成田国際空港間の交通利便性が確保されます。

事務事業の内容、やり方、手順

空港シャトルバスは、芝山鉄道延伸連絡協議会（山武市、芝山町及び横芝光町で構成）が実施する事業で、成田国際空港と九十九里地域を結ぶバス路線を確保・充実することにより、地域住民の交通の利便性向上を図りました。 <バスの運行ルート等> 空港第2旅客ターミナル～横芝屋形海岸 停留所17箇所（うち山武市内9箇所） 大型バス2台で1日往復12便 乗車料金：1回300円(ICカード利用270円) ※小学6年生まで及び障害者150円(ICカード135円)、小学6年生までの障害者80円(ICカード68円)、保護者同伴の乳幼児無料

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
年間運行のべ回数	本	8,760	8,760	8,760
協議会（総会・幹事会）の開催回数	回	4	4	4
成果状況				
年間利用者数（山武市内9停留所）	人	14,132	17,090	41,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	26,023	0	0	0	1,704	24,319	
03年度 実績	26,111	0	0	0	948	25,163	
04年度 当初	22,941	0	0	0	0	22,941	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>年間利用者数が令和2年度と比較して、2,958人増加しています。 <原因>緊急事態宣言等が解除となり、空港従事者や観光客等の空港利用者数が増加したと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
東京・千葉方面への1日当たりのバス利用者数	人	585	692	1,470
成田空港方面への1日当たりのバス利用者数	人	33.4	42.1	95

事務事業名 自主防災組織育成事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進	
基本事業番号	01	基本事業名	地域防災力の向上	
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1072

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

区、自治会 自主防災組織

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時に自分たちの地域の自主的な災害復旧活動が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

いざ災害が起こったときに「自分たちのまちは自分たちで守る」という地域住民の自衛意識と連帯感に基づいて、区会、自治会単位で自主的に活動する組織の結成を促進します。 ・結成した自主防災組織を対象に1組織当たり40万円を限度に必要な資機材の購入費に補助金を交付します。 ・自主防災組織の活動費として、世帯数に応じて補助金を交付します。 ・自主防災組織のメンバーやボランティア精神旺盛な市民に防災士資格を取得してもらい、市内防災力の向上を図ります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
関係機関（区長連合会、区、自治会）説明回数	回	0	3	1
活動促進事業補助金交付件数	件	9	13	45
成果状況				
新規結成自主防災組織数（当該年度）	組織	4	5	3
自主防災組織数（合計）	組織	85	90	93

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	3,332	0	1,640	0	0	1,692	
03年度 実績	2,270	0	1,035	0	0	1,235	
04年度 当初	3,520	0	1,610	0	0	1,910	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 自主防災組織の新規結成数は計画数以上となり、順調です。 <原因> 災害時に求められる地域の共助に対する認識が高まり、自主防災組織の新規結成が増加したものと考えます。各自主防災組織が実施する防災訓練は、コロナ禍の影響により活動自粛が続いたことで横ばい状況となっています。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
自主防災組織数	組織	85	90	72
各地区防災訓練実施率	%	46.2	53.8	70
避難行動要支援者名簿の情報提供に同意した人数の割合	%	88.1	85.9	75

事務事業名 防災訓練実施事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	防災意識の向上	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1588

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・職員・防災関係機関等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害時における「自助」、「共助」の重要性が周知され、市民の防災意識が醸成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

平成23年3月11日に発生した東日本大震災や令和元年の風水害を教訓に、日頃から住民や関係機関が災害の脅威を十分認識するほか、地域防災力を充実させるため、自主防災組織を中心とした訓練を毎年度地域を定めて実施します。
○市民防災意識の向上を目的として一斉行動訓練（シェイクアウト訓練）を実施しました。（参加者3,986名）
○令和3年6月6日千葉県と共催し土砂災害訓練を実施しました。（参加者凡そ300名）
○井之内地区において津波避難施設（築山）を利用した津波避難訓練を実施しました。（参加者凡そ100名）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
防災訓練実施回数	回	1	3	1
成果状況				
防災訓練参加者数	人	3,876	4,386	300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	163	0	0	0	0	163	
03年度 実績	92	0	0	0	0	92	
04年度 当初	1,052	0	0	0	0	1,052	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和3年度は例年実施しているシェイクアウト訓練の他、千葉県と合同で土砂災害訓練を実施し、順調です。
＜原因＞
警察や消防署など関係機関協力のもと、山武市内の土砂災害警戒区域に防災訓練の参加を募り、訓練を実施したことで市民の災害に対する備えや行動など防災意識が向上したものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
災害に対する備えの平均実施項目数(全12項目)	項目	4.67	5.17	4.25

事務事業名 消防ポンプ車等整備事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり	
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進	
基本事業番号	04	基本事業名	消防力の充実	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 4

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

消防ポンプ車等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

車両更新により消防力が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

更新期間の目安を23年としていることから、使用年限を超える消防車両について点検を実施し、状態に応じて順次更新整備を行います。
年度別更新計画
ポンプ車、小型ポンプ付積載車
令和3年度 1台
令和4年度 1台
令和5年度 1台、1台

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
使用年限到来による更新台数	台	1	1	1
成果状況				
使用年数23年以上経過した台数	台	4	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	23,459	0	1,807	10,800	7,088	3,764	
03年度 実績	24,265	0	1,807	11,200	8,443	2,815	
04年度 当初	18,046	0	471	8,700	0	8,875	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
新規登録から23年を経過する消防車両を適切な時期に更新しています。
<原因>
不具合がある場合は点検・修理を実施し、消防車両の状態に基づく更新計画ができています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
消防団の火災出動率	%	74	70.9	70
消防団員の充足率	%	90.5	88.1	96
常備消防職員の充足率	%	97.8	98.2	100

事務事業名 地域防災計画改定事業

総務部 消防防災課

政策番号	01	政策名	暮らしを支える快適なまちづくり		
施策番号	03	施策名	防災・減災対策の推進		
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進		
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度				事務事業整理番号 1608

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、防災関係機関、市職員等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

災害発生時において迅速かつ的確な対応が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

東日本大震災や令和元年の台風等による風水害の教訓を活かした地域防災計画に改定します。
<業務委託>
【令和3年度】
コンサルタント選定
資料収集及び改定課題、方針検討を行う
【令和4年度】
・コンサルタントとの打合せ、内容調整
・防災会議の開催
・パブリックコメントの実施
・成果：山武市地域防災計画 200部、概要版 500部

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
コンサル打合せ日数	日		2	3
防災会議開催数	回		0	2
成果状況				
年度別スケジュールの進捗率	%		20	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	2,270	0	0	0	0	2,270	
04年度 当初	6,083	0	0	0	0	6,083	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
山武市地域防災計画の改定について、令和3年度にコンサルタントを選定し、令和4年度中の改定に向け順調です。
<原因>
コンサルタントとの打合せにより改定に必要な資料等の提供を行い、計画改定を進めています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値

事務事業名 不法投棄パトロール事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	01	施策名	生活環境の充実	
基本事業番号	02	基本事業名	美化運動の推進と不法投棄防止対策	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 586

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全域（市の道路、水路等公共用地）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公有地（道路等）の不法投棄を早期に回収することで、市内の環境美化が維持されます。

事務事業の内容、やり方、手順

廃棄物の不法投棄を未然に防ぎ、不法投棄される恐れがある地域等のパトロールを実施し、道路、水路における公共用地に不法投棄された廃棄物を回収します。1日2人一組×3組体制

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
連絡調整会議	回	2	2	2
不法投棄パトロール日数	日	242	242	243
成果状況				
収集したごみ量（袋数）	袋	10,048	5,532	7,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	10,942	0	0	0	0	10,942	
03年度 実績	10,860	0	0	0	0	10,860	
04年度 当初	11,013	0	0	0	0	11,013	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>収集したごみ量は、令和2年度より4,516袋減少しており、順調です。

<原因>不法投棄パトロールの強化が抑止につながり、減少したと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
産業廃棄物不法投棄件数	件	13	7	4
一般廃棄物等不法投棄件数	件	84	89	87
ごみゼロ運動参加者数	人	0	0	10,000

事務事業名 航空機騒音障害防止対策費交付事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	01	施策名	生活環境の充実	
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策	
計画年度	昭和 53 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 121

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・旧松尾町及び旧蓮沼村の全区 ・旧成東町の木戸岡、木戸浜及び原横地区

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・航空機騒音対策に対する満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

成田国際空港の航空機の騒音による障害の緩和を図るため、地区が行う騒音対策事業に充てる経費を交付します。 交付金対象事業 1. 地区集会施設の整備及び維持管理 2. 生活環境関連施設の整備又は改善若しくは保全 3. 航空機災害に備える消防施設の整備等及び自主防災組織の育成 4. 地域振興に寄与すると認められる施設の整備 5. スポーツ又はレクリエーション活動若しくは関連施設の整備 6. コミュニティ育成活動 7. その他市長が特に必要と認める事業
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
交付金申請区数	区	59	59	59
成果状況				
交付金交付区数	区	59	59	59

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	45,909	0	0	0	43,060	2,849	
03年度 実績	45,750	0	0	0	34,312	11,438	
04年度 当初	44,624	0	0	0	0	44,624	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

①活動進捗状況	☐ 非常に順調	☒ 順調	☐ 一部遅延あり	☐ 遅延あり
②事業成果状況	☐ 向上	☒ 維持・横ばい	☐ 低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 令和3年度は59地区に交付し、横ばいです。 <原因> 交付対象の区数に増減が無かったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	79.9	78.5	80

事務事業名 航空機騒音対策空調機器設置事業

総合政策部 空港地域振興課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	01	施策名	生活環境の充実	
基本事業番号	03	基本事業名	航空機騒音等の対策	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1766

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

住民基本台帳に登録されている松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部の住民（航空機騒音の影響を受ける地域）
ただし、成田国際空港（株）及び（財）成田空港周辺地域共生財団による民家防音工事対象住宅を除く

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

航空機騒音が軽減されています。

事務事業の内容、やり方、手順

国土交通省告示により騒防法第1種区域及び公益財団法人成田空港周辺地域共生財団が定めた第1種区域の隣接区域を除いた航空機騒音の影響を受ける地域（松尾地域・蓮沼地域及び成東地域の一部）の世帯を対象に、この区域の住宅に冷暖房機を設置する工事を実施した者に補助金を交付します。
（平成28年度以前に実施した事業を令和元年度から対象等を変更して実施）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
補助金額	千円	45,065	28,991	40,000
成果状況				
空調機器補助台数（単年度）	台	569	366	500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	45,177	0	0	0	43,833	1,344	
03年度 実績	29,191	0	0	0	24,000	5,191	
04年度 当初	40,056	0	0	0	2,500	37,556	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和3年度の補助台数は366台で、前年度より203台減少しています。

<原因>
事業開始から3年が経過し、恒久的な事業であることから申請者が落ち着いたためと思われます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
航空機騒音対策に対する満足度	%	79.9	78.5	80

事務事業名 省エネルギー等対策事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	03	施策名	自然環境の保全	
基本事業番号	04	基本事業名	再生可能エネルギー対策の推進	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（世帯）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

住宅用省エネルギー設備等の設置により、家庭における地球温暖化対策が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市民が住宅用省エネルギー設備等を設置する場合に、設置費用の一部を補助します。

- ①太陽光発電システム 上限90,000円
②定置用リチウムイオン蓄電システム 上限100,000円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
広報等で啓発した回数	回	1	1	1

成果状況	単位	02年度	03年度	04年度
補助金を活用して省エネ設備を導入した世帯数	世帯	34	21	40

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	3,721	0	3,415	0	0	306	
03年度 実績	2,231	0	2,226	0	0	5	
04年度 当初	5,056	0	5,050	0	0	6	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
総発電量が前年度と比較し、1.49kw増加しています。
＜原因＞
省エネ化や台風災害等に備えるため、既存太陽光発電システムに蓄電システムを導入する家庭は増加傾向にあります。近年の買取価格の引き下げにより太陽光発電システムを新たに導入する家庭は減少傾向であるなか、蓄電システムとの同時導入が増加したことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
再生可能エネルギーの発電装置の普及件数	件	1,982	1,992	1,538
再生可能エネルギーの発電装置による契約発電量	kw	517,948	531,214	259,882
市の事務事業により発生する二酸化炭素の量	tCO2	4,274		5,366

事務事業名 浄化槽設置支援事業

建設環境部 環境保全課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり	
施策番号	03	施策名	自然環境の保全	
基本事業番号	05	基本事業名	汚水処理の推進	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 598

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

未処理の生活排水が適正に処理されます。

事務事業の内容、やり方、手順

単独処理浄化槽、くみ取り槽から合併処理浄化槽に転換する場合に補助を行い、合併処理浄化槽の設置を促進します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

1 年間の浄化槽補助金申請件数

単位	02年度	03年度	04年度
件	86	58	70

成果状況

単独浄化槽設置基数

基	4,047	4,042	3,978
---	-------	-------	-------

し尿処理世帯戸数

戸	2,012	1,996	1,992
---	-------	-------	-------

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	69,653	26,266	23,756	0	19,631	0	
03年度 実績	47,873	20,506	14,964	0	12,403	0	
04年度 当初	58,448	25,814	17,844	0	14,790	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度と比較して単独処理浄化槽設置基数が5件減少、し尿処理世帯戸数が16件減少しています。
＜原因＞
未処理の生活排水を排出していた世帯の汚水処理意識が向上したことにより、合併処理浄化槽への転換が進んだことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
BOD濃度作田川（中流域）	mg/l	1.7	1.8	2
BOD濃度木戸川（中流域）	mg/l	1.7	1.6	2
汚水処理世帯の普及率	%	55.7	64.3	44

事務事業名 防犯灯維持管理事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	03	基本事業名	犯罪がおこりにくい環境に向けての施設設備の整備
計画年度	年度 ～ 年度		事務事業整理番号 189

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市民
- ・既設防犯灯

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

夜間における危険箇所が解消され、安全が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・市内における夜間の犯罪の発生を抑制し、市民の安全を確保するために道路及びその周辺の既設防犯灯を管理しました。
- ・既設防犯灯の修繕、電気料金を支払いました。
- 《修繕方法》市民から既設防犯灯の故障（支柱の倒壊等）連絡→状況により現地調査→修繕工事依頼

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
LED防犯灯年間設置基数（交換も含む）	基	84	32	100
防犯灯修繕数（LED防犯灯も含む）	基	74	90	170
成果状況				
1基当たり年間電気料	円／年	1,982	2,179	2,041
削減電力量（W）	ワット	840	320	1,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	20,043	0	0	0	2,483	17,560	
03年度 実績	20,482	0	0	0	1,566	18,916	
04年度 当初	24,436	0	0	0	0	24,436	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 1基あたりの年間電気料は2,179円となっており、令和2年度と比較すると1基あたり197円の増となっています。削減電力量は320Wで、令和2年度の840Wと比較すると61.9%低下しています。

＜原因＞ 1基あたりの年間電気料金は、電気料金の値上げによるものと思われます。削減電力量につきましては、市全体の95%以上をLED化することができたためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
防犯灯設置要望対応率	%	100	100	100
防犯カメラの設置台数(累積)	台	39	39	40

事務事業名 消費生活相談事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	02	政策名	住みやすい環境と安全なまちづくり
施策番号	05	施策名	防犯・交通安全の推進
基本事業番号	04	基本事業名	消費者トラブルの防止
計画年度	年度 ～ 年度		
事務事業整理番号			533

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

消費者と事業者との間の情報や交渉力の格差が軽減され、商品及び役務についての必要な知識や判断力が養われ、消費者自らが利益を保護し自主的に行動することができるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

消費生活センターの運営
開設日 月～金曜日（祝祭日及び12月29日から1月3日を除く）
開設時間 午前9時～正午まで及び午後1時～午後4時30分まで
業務
・消費生活相談員による事業者に対する消費者からの苦情に係る相談及び処理のためのあっせん
・消費生活における安全性の確保のために必要な情報の収集及び提供

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
消費生活センターへの問合せ件数	回	2,350	2,115	2,300
啓発物の配布枚数	枚	29,300	24,800	29,000
成果状況				
消費者相談件数（山武市受付分）	件	471	397	470
消費者相談件数	件	580	544	580

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,305	0	1,321	0	147	837	
03年度 実績	2,563	455	1,565	0	161	382	
04年度 当初	1,922	0	1,069	0	140	713	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>相談件数は、令和2年度より36件減少しました。
<原因>新型コロナウイルス感染症の影響による生活様式の変化により、消費活動が抑制され訪問販売等の接触型の消費トラブルが減少したことが考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
消費者相談件数	件	580	544	455
消費者トラブルにあった市民の割合	%	3.3	5.1	3.3

事務事業名 経営所得安定対策推進事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	01	基本事業名	経営の安定化の推進	
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1602

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市農業再生協議会
農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業経営の安定化が図られています。
産業としての持続性が回復し、農村の再生が図られています。

事務事業の内容、やり方、手順

販売価格が生産費を恒常的に下回っている作物（水稻）を対象に、農業経営の安定と国内生産力の確保を図るため、主食用米から新規需要米への作付転換を支援します。
市は、山武市農業再生協議会が行う経営所得安定対策の推進活動に必要な補助金を助成します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
生産調整面積	h a	877	912	900
成果状況				
生産調整実績	h a	531	731	600
事業加入者数	人	175	230	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	71,057	0	7,090	0	0	63,967	
03年度 実績	114,438	0	22,278	0	0	92,160	
04年度 当初	115,573	0	21,850	0	0	93,723	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度と比較して、生産調整実績は200ha、事業加入者数は55人増加しています。
＜原因＞
米価下落の影響により飼料用米への作付転換が増加したことによるものです。人口減少等による需要減等によって主食用米の需要の減少が見込まれるため、更なる米価の下落が懸念されます。引き続き新規加入者並びに生産調整面積を増やしていく必要があります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
耕作面積	h a	2,904	2,905	2,902.8
家畜伝染病発生件数（酪農、養豚、養鶏）	件	0	0	0

事務事業名 認定農業者育成事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 447

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内認定農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

機械・施設の導入・更新が促進され、作業の省力化・効率化が進むことで、農業経営が改善されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市内認定農業者が農業経営改善に必要とする農業用機械の購入（貨物自動車を除く。）及び農業用施設の整備に要する経費の10%以内を限度額200,000円（スマート農業関連機械及び施設については、限度額500,000円）として、同一年度内に一度限り助成します。
なお、交付を受けた翌年度については、事業申請できません。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
事業要望件数	件	47	42	33
補助金交付件数	件	44	41	33
成果状況				
交付額	円	8,849,000	8,592,000	9,000,000
認定農業者増加件数	人	5	-5	9

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	8,849	0	0	0	0	8,849	
03年度 実績	8,592	0	0	0	0	8,592	
04年度 当初	9,000	0	0	0	0	9,000	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和2年度と比較して、補助金交付額は257千円、認定農業者数は5人減少しています。
<原因>補助金交付額の減少は、交付上限額を250,000円から200,000円に見直したことによるものです。認定農業者数の減少は、高齢化等の影響によるものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
認定農業者数	人	369	364	389
青年等就農計画認定者数	人	11	17	20

事務事業名 地域農業経営支援事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	担い手の育成・支援	
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1667

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新規就農者や農業後継者を支援することで、地域農業の担い手が確保されています。

事務事業の内容、やり方、手順

人・農地プランを策定することにより以下の助成を受けることができます。
農業次世代人材投資資金（原則50歳未満で、独立自営就農する方）150万円/年支給（夫婦認定225万）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
マスタープラン作成地区数	箇所	13	13	13
成果状況				
青年就農給付金支給者数	人	11	10	9
	a	0		

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	21,420	0	21,000	0	0	420	
03年度 実績	14,892	0	14,352	0	0	540	
04年度 当初	15,570	0	14,625	0	0	945	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和2年度と比較して、農業次世代人材投資資金（旧青年就農給付金）支給者数は1人減少しています。
<原因>資金支給期間（経営開始から5年）の終了によるもので、離農等による減少はありません。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
認定農業者数	人	369	364	389
青年等就農計画認定者数	人	11	17	20

事務事業名 農業水路等長寿命化・防災減災事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1996

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農業水利施設の整備、更新等により生産基盤が整備されています。

事務事業の内容、やり方、手順

老朽化した農業水路等の農業水利施設の整備、更新等を地域の実情に応じて実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
整備更新等に係る事業数	件	1	1	3
成果状況				
事業実施済地区数	地区	1	1	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	11,451	0	6,272	0	0	5,179	
03年度 実績	3,536	0	0	0	0	3,536	108,199
04年度 当初	38,330	0	23,680	6,900	0	7,750	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
水路境界が確定したので、水路整備工事を発注し完成しました。
<原因>
地権者が仮設道路用地を提供することにより、支障なく工事が完成しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	4	5	5

事務事業名 ほ場整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	05	基本事業名	農業基盤整備の推進	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1997

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

受益対象農地

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

担い手へ農地が集積・集約化され、耕作放棄の発生が防止されています。

事務事業の内容、やり方、手順

担い手への農地を集積・集約化を加速するため、受益対象農地について、区画整理、農用地造成等の基盤整備事業を実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
事業実施予定地区数	地区	3	3	3
成果状況				
事業採択申請件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	50,287	0	0	0	0	50,287	
03年度 実績	23,115	0	12,000	0	0	11,115	
04年度 当初	26,263	0	4,000	0	0	22,263	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
3地区に土地改良事業推進員が設置され事業採択に向けて進捗しています。

<原因>
推進員が地権者に対して事業の説明をしています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
国営、県営等の有利な補助制度を活用した農業基盤整備の事業完了数	箇所	4	5	5

事務事業名 県単森林整備事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1606

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内山林

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

荒廃した森林が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

森林の適正な整備を行い、林木の健全な成長を促進し、森林の持つ多面的機能を高度に発揮する優良な森林を造成するため、造林・保育（下刈り・枝打ち・間伐・除伐等）・間伐材搬出を行う森林所有者に対して、事業費の一部を補助します。

補助率：事業費の 7 / 10以内
県 4 / 10以内 市 3 / 10程度

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
補助金額	千円	4,811	4,612	5,842

成果状況				
県単森林整備事業で整備された森林面積	ha	1.27	1.88	2
間伐材搬出量	立米	502	551	900

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,712	0	1,550	0	0	1,162	
03年度 実績	4,613	0	2,636	0	0	1,977	
04年度 当初	5,842	0	3,337	0	0	2,505	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>本事業により整備された森林面積は、令和2年度と比較して0.61haの増加、間伐材等の搬出量は49立方メートルの増加となり、昨年度より微増となりました。
<原因>本事業は、造林、保育、間伐材搬出などに活用される事業であり、自伐林家においては毎年度活用されております。その反面、法人においては、令和元年台風被害以降、風倒木処理等に係る事業を実施する必要性が増えたことから、補助事業としては、活用が減少傾向にあります。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	33	20	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	3,735	6,032.3	1,400

事務事業名 災害に強い森づくり事業

産業振興部 農政課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	06	基本事業名	森林再生の推進	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2073

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内森林

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

重要インフラ施設に隣接する森林が整備されます。

事務事業の内容、やり方、手順

重要インフラ（道路・鉄道・送配電）の施設に隣接し、林地からの風倒木や土砂流出等が当該施設に被害を及ぼす懸念を有する森林において、森林所有者及び重要インフラ施設管理者との協定に基づき伐採、更新伐等を行う事業体に対して事業費を補助します。

補助率 県:4/10以内 市2/10以内

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
補助金額	千円	65,020	54,115	40,121
成果状況				
災害に強い森づくり事業で整備された森林面積	ha	5.46	5.78	18.03
災害に強い森づくり事業で運搬された被害材の量	立米	750	4,750	1,150

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							44,892
03年度 実績							54,116
04年度 当初	40,121	0	26,394	0	0	13,727	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>本事業での整備面積は、前年度と比較して0.32ha増加し、運搬量は4,000立方メートル増加しました。 <原因>事業体との協議により、被害の大きい施業地を選定できたことが運搬量の増加につながっています。本事業は、重要インフラ施設に隣接する森林を対象とすることから、インフラ施設管理者（東京電力）との協議、関係者間の協定が手続き上必要となり、実施までに時間を要します。この流れが前年度から続いていることから、実績は全て前年度からの繰越事業のものとなります。 （令和2年度繰越事業 事業費54,115千円（内訳）県費34,905千円、一般財源19,210千円）
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
森林整備事業年間実施箇所数	箇所	33	20	27
市補助制度を活用し、搬出された木材量	t	3,735	6,032.3	1,400

事務事業名 農業委員会運営事業

農業委員会事務局 農業委員会事務局

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	01	施策名	農林水産業の振興	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 688

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

農業委員 農地利用最適化推進委員 農地 農業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

農地が適正に利用されます。
農業経営が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

農地法による権利移転や転用、農業経営基盤強化法による利用権設定等を希望する農業者に対し、申請に係る指導を行い、適切な農地利用を図りました。
提出のあった農地法許可議案等は、毎月開催される総会において審議し、承認された案件については、その後速やかに許可や県への進達を行いました。
その他の事業については以下のとおり実施しました。
・農家基本台帳の整備
・農地法に基づく農地の利用状況について調査
・農業委員・農地利用最適化推進委員の研修
・法務局や裁判所等からの地目変更照会に対する調査回答

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
審議議案数	件	566	419	500
現地調査件数	件	657	514	550
成果状況				
農地申請不許可率	%	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	20,050	0	2,279	0	0	17,771	
03年度 実績	19,936	0	2,281	0	0	17,655	
04年度 当初	22,410	0	3,784	0	0	18,626	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
農業委員及び農地利用最適化推進委員による農業委員会運営が円滑に行われ、農地の適正利用が図られました。
＜原因＞
農地法等の法令について、農業委員及び農地利用最適化推進委員へ事務局から助言等をしていることや委員と事務局が連携し、現地確認等を迅速に実施していることが円滑な運営につながったと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値

事務事業名 プレミアム付商品券事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化	
基本事業番号	01	基本事業名	市内消費の向上	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 02 年度			事務事業整理番号 2125

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、市内事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

プレミアム付き商品券の販売及び使用により、市内経済の循環を促し、コロナ禍で低迷する経済を活性化させます。

事務事業の内容、やり方、手順

商工会補助事業として市民を対象にした市内商店で利用できるプレミアム付商品券を発行します。

- ・参加店舗募集
- ・周知案内
- ・申請受付
- ・引換券発送
- ・商品券販売
- ・商品券換金（利用店舗）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
商品券発行額	千円	658,008	489,606	
商品券換金額	千円	656,157	487,734	
成果状況				
換金率	%	99.7	99.6	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	168,756	168,756	0	0	0	0	
03年度 実績	130,082	130,082	0	0	0	0	
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
予定発行冊数（35,000冊）は完売し、換金率も99%を超え順調です。
＜原因＞
市内271店舗で使用できる商品券であることと、全戸周知及び希望購入数を上限に均等に配分した結果、多くの市民が利用することができたことによると考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市内で日用品や食料品を買う市民の割合	%	67.6	67.5	72

事務事業名 エコノミックガーデニング推進事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化	
基本事業番号	02	基本事業名	経営体の体質強化・育成	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1802

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中小企業、小規模事業者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地元企業が成長し、雇用が確保されるとともに経営が安定します。

事務事業の内容、やり方、手順

さんむエコノミックガーデニング推進協議会を中心にエコノミックガーデニング事業を推進します。企業ヒアリングによりエコノミックガーデニング事業の推進を図ります。

事業内容

- ・さんむエコノミックガーデニング推進協議会の運営
- ・エコノミックガーデニング事業の企画、展開
- ・商圏分析などデータ構築、提供
- ・域内企業マッチング

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
活動事業数	事業	10	9	15
成果状況				
参加事業所数	所	74	75	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,744	0	0	0	872	872	
03年度 実績	1,952	0	0	0	976	976	
04年度 当初	3,628	0	0	0	1,717	1,911	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>協議会への参加事業所数は、令和2年度より1事業所増加しており順調です。

<原因>新型コロナウイルス感染症の影響により、7事業が休止となり、活動が縮小されましたが、9事業はコロナ禍での対応を工夫し活動できたことが参加事業所の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
黒字化している事業所割合(法人税割を納めている事業所数)	%	39.3	43.5	60.3
新規法人登録件数	件	83	147	82
支援制度を活用して事業推進に取り組んでいる事業者数	社	235	177	214

事務事業名 企業誘致促進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり
施策番号	02	施策名	商工業の振興と地域経済活性化
基本事業番号	03	基本事業名	企業立地と企業定着による雇用の推進
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度		
事務事業整理番号			2077

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

企業

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市内に新たな企業が立地することにより、地域経済の活性化及び雇用の場の拡大が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

企業の立地に向けて、次の業務を実施

- ◆企業立地に係る情報収集
- ・千葉県や金融機関等との意見交換
- ◆企業誘致に係る支援制度の周知PR
- ・市ホームページ、チラシ、イベントフェアへの参加等
- ◆企業との相談受付
- ・企業訪問、企業からの引き合い等から誘致に向けた交渉
- ◆新たな産業用地の検討
- ◆山武市企業立地促進条例（令和2年4月1日施行）に基づく各種奨励金の交付による立地企業への財政的な支援

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
企業誘致支援制度の周知PR回数		5	2	5
企業との相談回数		32	4	10
成果状況				
企業等からの照会件数		10	3	4
企業立地・拡張件数		0	2	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	6	0	0	0	0	6	
03年度 実績	1	0	0	0	0	1	
04年度 当初	1,044	0	0	0	0	1,044	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
企業立地支援制度の対象となる新規立地・拡張が2件ありました。

＜原因＞
山武市企業立地促進条例（令和2年4月1日施行）に基づく各種奨励金等の施策が、各種PR活動により認知されてきたことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市内事業所数	社	—	1,669	1,772
市内従業者数	人	—	15,458	15,332

事務事業名 海水浴場維持管理安全対策事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 553

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・観光客
- ・海水浴場施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海水浴客の安全が確保されます。また、施設の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全ての海水浴場の開設を中止しましたが、来遊する海水浴客の安全対策として、監視所等の施設借上げを行い、海水浴場監視業務を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
委託業務数	件	0	5	6
海水浴場開設日数	日	0	0	37
成果状況				
水難事故件数	件	0	0	0
苦情件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	6,630	0	0	0	0	6,630	
03年度 実績	44,532	0	0	0	0	44,532	
04年度 当初	55,211	0	0	0	3,301	51,910	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
水難事故件数と苦情件数は、0件となっています。

＜原因＞
海水浴場は開設していませんでしたが、多くの海水浴客が市内の海岸を訪れました。市が安全対策として海岸監視業務を十分に実施したため、水難事故や苦情はありませんでした。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	-	-	95,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	0	1	0

事務事業名 美しい海水浴場次世代継承事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	02	基本事業名	海岸を活用した観光推進	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2013

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・本須賀海水浴場 ・観光客 ・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

ブルーフラッグ取得によるイメージアップにより、観光客が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

国際環境認証であるブルーフラッグを取得するため、下記の事業を行います。 ・海岸環境保全教育 ・ビーチクリーン活動及び支援 ・水質検査（開設前1回・開設期間中5回） ・安全リスク評価（3年に1回・次回は2024年度） ・ブルーフラッグ認証取得申請（毎年更新） 令和3年度は、認証を受けたものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海水浴場が開設されませんでした。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
海岸環境教育活動回数	回	9	9	12

成果状況				
海岸環境教育活動参加者数	人	304	515	250
本須賀海水浴場入込数	人	0	0	46,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,338	0	0	0	2,336	2	
03年度 実績	4,938	0	0	0	4,938	0	
04年度 当初	4,685	0	0	0	4,597	88	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 海岸環境教育活動等への参加者数は515人で、前年度と比較して211人増加しています。
＜原因＞ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、海岸環境教育セミナーは実施できませんでしたが、前年度よりビーチクリーン事業への参加者が増加したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
観光施設(海水浴場)の利用者数	人	-	-	95,000
観光施設の維持管理上の不具合件数	件	0	1	0

事務事業名 観光PR事業

産業振興部 商工観光課

政策番号	03	政策名	にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり	
施策番号	03	施策名	観光の振興	
基本事業番号	03	基本事業名	観光情報の発信	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 544

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・観光客

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

観光客の来遊を誘引します。

事務事業の内容、やり方、手順

観光客の誘致促進のため観光PRイベントへの参加及びマスコットキャラクターの活用を行います。 ・広報宣伝活動・・・マスメディア・各旅行会社等（風評被害の払拭・イメージアップ等を含む） ・プロモーション活動・・・各種イベント活動事業 ・情報配信媒体・・・PRホースター・販促用グッズ等 令和3年度は、アサヒグループと千葉大学と連携して苺クラフトビール「さんむRED」と「森のタンブラーSUNBUSUGI」を開発し、販売しました。 また、モンベルフレンドエリア九十九里連絡協議会により、サイクルツーリズム事業を推進し、サイクルマップを策定しました。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
チラシの配布数	枚	25,500	5,000	25,500
成果状況				
ポスター掲示数	箇所	700	700	700

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,280	0	0	0	984	1,296	
03年度 実績	3,831	0	0	0	1,305	2,526	
04年度 当初	4,705	0	0	0	600	4,105	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞観光宣伝用ポスターの掲示板は700箇所、前年度と比較して変更はありません。
＜原因＞新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、観光イベントが実施できないため、新たなポスター作成は見合わせたことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
観光案内所利用件数	件	5,859	7,018	6,800
観光協会HP等の閲覧数	人	96,491	96,020	7,200

事務事業名 緊急通報ネットワーク事業

保健福祉部 高齢者福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	01	施策名	高齢者福祉の充実	
基本事業番号	03	基本事業名	安全・安心な生活への仕組みづくり	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 357

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

①65歳以上の高齢者のみの世帯に属する方
②身体障害者1級または2級に該当する65歳未満の方のみで構成される世帯に属する方

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

急病等の緊急時に適切な対応が行われ、日常生活上の不安が解消されます。

事務事業の内容、やり方、手順

高齢者世帯等に対し、緊急通報装置を貸与することにより、日常生活の不安を解消し、急病等の緊急時に迅速かつ適切な対応を図ります。また申し出により、救急医療情報キットの配布も行います。
<事務手順>
①緊急通報装置貸与申請を市に提出します。（救急医療情報キットについては、申請書を提出するのみ）
②市が該当要件を審査し該当者には決定通知を郵送します。
③市と委託契約した事業所が日程調整の上装置を設置します。
④貸与は無料で、装置に係る費用は市が負担します。
⑤月に一度、市と委託契約した事業所が安否確認の連絡をします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
緊急通報装置設置申請受理件数	件	29	51	44
お元気コール実施回数	回	4,661	4,444	5,100
成果状況				
緊急通報連絡により対応した件数	件	243	244	229
緊急通報装置の設置数	台	366	373	396

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	7,615	0	0	0	0	7,615	
03年度 実績	5,926	0	0	0	0	5,926	
04年度 当初	6,666	0	0	0	0	6,666	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>緊急通報連絡により対応した件数は前年度から1件の増加、緊急通報装置の設置数は前年度から7台増加し、いずれも横ばいとなっています。
<原因>緊急通報装置の設置台数については、包括支援センターや民生委員からの情報提供により新規設置となる台数と、施設入所や死亡により撤去となる台数が均衡しているためと考えられます。また、これに伴い、実際に行われる緊急通報連絡も同程度の件数になったと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
相談先がある高齢者の割合	%	77.9	78.1	78.4

事務事業名 障害者自立支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実
基本事業番号	01	基本事業名	自立支援サービスの促進
計画年度	平成 20 年度 ～ 年度		
事務事業整理番号			1063

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

障害者総合支援法に基づく障害（身体障害・知的障害・精神障害・難病等）を持っている山武市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障がいのある人が自立を図るため、障害福祉サービスが受けられます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害の手帳や難病の受給者証を所持している方を対象に、障害福祉サービス（介護給付・訓練等給付等）を利用していただく事業

【利用申請手順】

- ①窓口にて申請
- ②心身の状況の調査
- ③医師の意見書の取り寄せ
- ④審査会にて障害支援区分の判定
- ⑤サービス等利用計画の作成、提出
- ⑥支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
介護給付費・訓練等給付費の支給を行った人数	人	488	542	560
成果状況				
障害者のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合	%	20.4	21.9	22

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,058,537	525,453	262,734	0	0	270,350	
03年度 実績	1,140,713	566,099	283,341	0	0	291,273	
04年度 当初	1,274,663	635,710	318,216	0	0	320,737	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和3年度の障害者のうち介護給付費・訓練等給付費の支給を受けた割合は21.9%となっており、前年度と比較して1.5ポイント増加しています。

<原因>手帳所持者の増加に伴い、障害福祉サービス支給決定を受けた利用者についても増加しました。また、障害者サービス利用事業所についても増えてきていることから、利用しやすい環境となり、給付費の支給を受けた割合が増加したと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
自立支援給付サービスの利用者数	人	638	735	540

事務事業名 障害児通所等支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	02	施策名	障がい者（児）福祉の充実	
基本事業番号	04	基本事業名	児童発達支援の充実	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1995

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

児童福祉法に規定する障害児及び精神障害者のうち18歳未満の者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

障害のある児童の生活能力の向上と自立が促進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

障害手帳を所持している児童や、発達が気になる児童に対して、障害児通所支援を利用していただく事業です。

【利用申請手順】

- ①窓口にて申請
- ②手帳のコピーか意見書を提出
- ③サービス等利用計画の作成、提出
- ④支給決定、サービス利用開始

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
通所受給者証を交付した就学前の児童数	人	55	66	66
通所受給者証を交付した就学後の児童数	人	95	127	128
成果状況				
通所支援を利用した就学前の児童の割合	%	100	95	95
通所支援を利用した就学後の児童の割合	%	91	94	96

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	148,663	74,335	38,064	0	0	36,264	
03年度 実績	180,780	90,373	45,186	0	0	45,221	
04年度 当初	193,107	96,553	48,276	0	0	48,278	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>通所支援を利用した就学前の児童の割合は95%、通所支援を利用した就学後の児童の割合は94%です。通所支援を利用した就学前の児童の利用率は5%減少、就学後の児童の利用率は3%増加となっています。

<原因>どちらも利用率は90%を超えており、サービスの支給決定を受けた児童が適切に通所支援を利用しているためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
就学前の障がい児通所支援の利用者数	人	55	66	56
切れ目のない支援のための情報共有及び仕組み構築の協議回数	回	1	8	8

事務事業名 新型コロナウイルスワクチン接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進	
基本事業番号	01	基本事業名	心身の健康管理の充実	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2153

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

厚生労働大臣が新型コロナワクチン接種対象者に指定した市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新型コロナウイルス感染症の予防接種を実施することにより、新型コロナウイルス感染症による死亡者や重症者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図るものです。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・都道府県による全国知事会との集合契約に参加
- ・ワクチン及び超低温冷凍庫は、国で買い上げ、分配
- ・国で指定する対象者に対し、無料接種券を送付
- ・原則居住市町村内で接種。医療従事者等やむを得ない場合は、施設等で接種を実施し、集合契約により国民健康保険連合会経由で接種費用を支払う
- ・市民への相談窓口として、コールセンターを設置
- ・接種体制確保事業は、国庫補助金。接種費用は、国庫負担金を財源とする

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
接種券配付数	人	0	46,151	47,625
成果状況				
予防接種を受けた対象者の割合	%	0	88.3	60

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	16,069	16,069	0	0	0	0	
03年度 実績	338,546	334,757	0	0	0	3,789	88,770
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
2回目のワクチン接種を、40,767人（88.3%）の人が接種完了しました。
<原因>
ワクチンについて、順調に各医療機関へ供給することができ、接種券の発送及びコールセンターの予約をスムーズに行うことができたことが、88.3%の人が接種完了した要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
1人当たりの健康づくり取組項目数(全12項目中)	項目	3.8	3.92	3.8

事務事業名 小児予防接種事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進
基本事業番号	03	基本事業名	母子の健康管理
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 1371

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・山武市に居住する生後2か月から7歳6か月未満児の定期予防接種対象者に予防接種を実施します。
・山武市に居住する小中学校の児童生徒の定期予防接種対象者に予防接種を実施します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

予防接種率を維持・向上させることにより、市での感染症の発生を未然に防止できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・乳幼児の予防接種は、下記のとおりです。
【ワクチン】B型肝炎、Hib、小児用肺炎球菌、四種混合、BCG、日本脳炎、麻しん風しん混合、水痘、不活化ポリオ
【周知方法】出生届時に予防票を配布し、HP、保健事業案内、母子モなどで対象年齢、接種方法などを周知しています。
【実施場所】契約医療機関に委託しています。
・児童生徒の予防接種は、下記のとおりです。
【ワクチン】日本脳炎2期、二種混合、HPV（子宮頸がん予防）
【周知方法】保健事業案内及び学校等を通じて周知するとともに二種混合・日本脳炎は予防票を配付します。また、市外通学の方へは個別にご案内します。
【実施場所】契約医療機関に委託しています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
定期予防接種者数（麻しん・風しん混合Ⅰ期、Ⅱ期）	人	476	464	432
定期予防接種者数（児童生徒：二種混合、日本脳炎Ⅱ期）	人	580	352	490
成果状況				
接種を受けた児の割合	%	96.6	93	90
接種を受けた児童生徒の割合	%	88.4	55.3	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	58,390	0	0	0	0	58,390	
03年度 実績	52,953	0	0	0	0	52,953	
04年度 当初	64,246	0	0	0	0	64,246	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞令和3年度の予防接種を受けた乳幼児の割合は、前年度に比較して3.6ポイント減少しており、国の目標である95%と比較しても、2.0ポイント下回っています。また、児童生徒の割合は33.1ポイント低下しています。
＜原因＞乳幼児の予防接種については、出生届出時の説明のほか、未接種者へ他の母子保健事業参加時や電話により勧奨を行いました。児童生徒の予防接種は、電話による勧奨を行いました。日本脳炎ワクチンが不足していたこと、コロナ予防接種との兼ね合いもあり、成果が低下したと思われます。コロナ感染症のために予防接種を遅らせないよう注意喚起の周知をしました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
乳幼児健診の受診率	%	92.6	94.9	95
乳幼児健診の満足度	%	96.5	96.4	94
幼児（3歳）のむし歯保有者率	%	13	16.5	16

事務事業名 地方独立行政法人さんむ医療センター運営事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進	
基本事業番号	04	基本事業名	医療体制の充実	
計画年度	平成 22 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1290

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんむ医療センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

病院事業が健全に運営され、安定した医療が提供されています。

事務事業の内容、やり方、手順

内容：さんむ医療センターへの繰出金の処理、長期貸付金にかかる病院企業債の借入れ事務等
やり方：繰出し基準により金額を算出し、予算を確保します。病院企業債の借入れについては、県に申請し、借入れ同意を得ます。
手順：【繰出し関係】 予算要求→予算の承認→さんむ医療センターからの請求→支出伝票の起票→決裁→会計課へ伝票の送付→支出
【借入れ関係】さんむ医療センターから市へ長期借入れの申請→市は県へ借入れの申請→ヒアリング→同意→借入れ手続き→入金→さんむ医療センターへ貸付け→さんむ医療センターは借用証書を提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
さんむ医療センターとの病院運営に関する会議回数（定例会及び必要に応じ開催した会議回数）	回	6	18	12
成果状況				
評価委員会による年度計画評価で、計画を下回る小項目数（C及びD）	項目	1	2	0
さんむ医療センターへの繰出金	千円	398,844	419,984	334,802

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	548,844	0	0	0	5,816	543,028	
03年度 実績	419,984	0	0	0	0	419,984	
04年度 当初	334,802	0	0	0	0	334,802	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞令和3年度さんむ医療センター評価委員会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し書面評価としました。年度計画評価で、計画を下回る小項目は2項目でした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
地域医療体制の充足度	%	61.8	65.3	57

事務事業名 成東保健福祉センター施設管理事業

保健福祉部 健康支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	03	施策名	健康づくりの推進	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 435

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東保健福祉センター施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全に施設を利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・需用費（消耗品・光熱水費・修繕）の支出
- ・消防設備保守点検委託（年2回）
- ・空調機器清掃委託料（年1回）
- ・空調設備保守点検（年2回）・日常清掃（平日）
- ・床清掃（年4回）・カーペット清掃（年2回）
- ・窓ガラス清掃（年2回）
- ・害虫駆除（年2回）・栄養指導室ダクト清掃（年2回）
- ・水質検査（年1回）・エレベーター保守点検（月1回）
- ・自動ドア保守点検（年2回）
- ・浄化槽清掃（年1回）・浄化槽保守点検（週1回）
- ・施設貸出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
修繕件数	件	9	6	3
修繕費総額	千円	940	570	200
成果状況				
修繕件数前年度比増加率	%	300	66	100
修繕費前年度比増加率	%	335.7	60	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	6,612	0	0	0	28	6,584	
03年度 実績	50,364	0	0	40,600	2,461	7,303	
04年度 当初	5,811	0	0	0	21	5,790	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和3年11月から令和4年7月まで、大規模修繕工事を実施しており、主に外壁補修工事となります。
<原因>大規模修繕工事の実施により、修繕件数前年度比増加率と修繕費前年度比増加率は減少しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値

事務事業名 ちびっこ国際交流事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1875

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼児等（児童）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

幼児等が外国語にふれあうことで、国際的な文化や歴史への関心が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

こども園等に通う幼児等が外国人の生の外国語に触れる機会を提供することで遊びを通して外国語を学び、その国の文化・歴史に興味を持つ事業を展開します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
外国語指導員数	人	1	1	1
成果状況				
保護者のこども園等に対する満足度	%	94.6	95	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	4,577	0	0	0	0	4,577	
03年度 実績	4,620	0	0	0	0	4,620	
04年度 当初	5,025	0	0	0	0	5,025	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>毎週の英語活動を行うことにより、保護者のこども園等に対する満足度が0.4%向上し順調です。
<原因>就学前の園児の興味・関心を持てる内容を実施していることが、満足度向上の原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	94	82.9	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	95.5	96	97

事務事業名 こども園施設整備事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	01	基本事業名	幼保機能の充実	
計画年度	平成 28 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1878

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

こども園（5園）施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

こども園が、園児にとって安心できる環境にする。

事務事業の内容、やり方、手順

建物（設備や遊具）の故障・損傷、経年による不良箇所の修理や改修を行う。
また、軽微な施設整備を行う。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
修繕及び工事件数	件	5	15	5
修繕及び工事費	千円	9,760	19,708	15,000
成果状況				
園児一人あたりの経費	円	14,678	31,382	24,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	16,059	0	0	0	11,456	4,603	
03年度 実績	27,531	0	0	0	20,436	7,095	
04年度 当初	15,437	0	0	0	0	15,437	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度に比べ、園児一人あたりの経費が、16,704円増加しました。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症拡大防止対策工事、害獣対策工事等中規模工事を実施したことにより、経費が増加しましたが、適切な実施により、順調に園運営を実施することができました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
幼稚園・保育所・こども園の利用定員充足率	%	94	82.9	85
就学前保育・教育に関する保護者の満足度	%	95.5	96	97

事務事業名 子ども医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	
計画年度	平成 15 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 428

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校3年生までの子ども
中学校3年生までの子どもの保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

子どもの保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、子育てしやすい環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

子どもの医療に要する費用を負担する保護者に対し、当該費用の全部又は一部を助成します。
対象は中学3年生までの子どもの通院又は入院に係る保険適用の医療費及び保険調剤とし、令和元年8月診療分からは個人負担は無料となります。
子どもの出生または転入（中学校3年生まで）により、山武市民となった子どもの保護者から、子ども医療費助成申請書に加入保険証（写し）を添付した申請を受け、受給券を発行します。（毎年、資格要件の有無を確認し、8月1日に切り替えとなります。）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
子ども医療費助成対象者数	人	4,692	4,584	4,357
成果状況				
医療費助成額	千円	99,164	109,343	118,103

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	102,506	0	27,286	0	464	74,756	
03年度 実績	113,015	0	29,273	0	560	83,182	
04年度 当初	119,258	0	35,858	0	908	82,492	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
医療費助成額が前年度より10,179千円増加し、順調です。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症感染予防を背景とした医療機関の受診控えの影響が解消してきているためと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	56,745	64,652	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	8.7	13.5	4.3

事務事業名 高校生等医療費助成事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1816

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

高校生等 高校生等の保護者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

高校生等の保護者の医療費に係る経済的負担が軽減され、就学・子育てしやすい環境が整っています。
--

事務事業の内容、やり方、手順

18歳（高校3年生）に達する日以後の最初の3月31日までの就学している者の保険診療分の医療費を償還払いで助成します。 （手順） 保護者は、助成制度を利用するための登録申請をします。 保険受診をしたときは、医療機関で通常の支払いをし、領収書を受領します。 医療費助成申請書に領収書等の必要書類を添付し、市に申請します。 市で申請書類を審査し、助成金を登録口座へ振り込みます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
資格登録人数	人	898	855	810
医療費助成件数	件	4,299	4,313	4,738
成果状況				
資格登録率	%	73	74	73
助成実人数	人	544	531	542

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	7,839	0	0	0	0	7,839	
03年度 実績	9,041	0	0	0	0	9,041	
04年度 当初	8,588	0	0	0	0	8,588	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 助成実人数が昨年度より13人減少しましたが、資格登録率が昨年度より1ポイント増加となり、順調です。
<原因> 少子化による対象者の減少から資格登録者は減少していますが、資格登録率は増加しています。令和元年8月診療分から個人負担額を無償化したことが影響していると考えられます。 助成実人数の減少は、新型コロナウイルス感染症感染予防による医療機関の受診控えの影響と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	56,745	64,652	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	8.7	13.5	4.3

事務事業名 子育て世帯等臨時特別支援事業

保健福祉部 子育て支援課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	03	基本事業名	子育て家庭への援助	
計画年度	令和 03 年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 2192

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

0歳から高校3年生までの児童を養育している方（所得要件基準額以下の方）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける子育て世帯の経済的負担を軽減します。

事務事業の内容、やり方、手順

令和3年9月分の児童手当受給者（公務員を除く）に支給申込みを実施し、対象児童1人につき10万円を支給します。対象者が公務員、高校生の児童を養育している方及び令和3年9月以降に生まれた児童を養育している方場合は、対象者からの申請により、対象児童1人につき10万円を支給します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
給付金支給世帯数			3,279	1
給付金支給児童数			5,509	1
成果状況				
給付金執行率			97.31	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	553,860	553,860	0	0	0	0	
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
子育て世帯への給付金として、3,279世帯、児童数5,509人に給付金を支給しました。
予算に対し、97.31%の執行率となっています。

＜原因＞
対象世帯に対し、個別に制度の周知及び申請の勧奨を行い、迅速に給付金を支給したことで、経済的な負担を軽減できたと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
子育ての経済的負担軽減に関するのべ受給者数	人	56,745	64,652	76,140
ひとり親家庭の自立率	%	8.7	13.5	4.3

事務事業名 移住定住促進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援	
計画年度	平成 29 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1947

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市外・県外在住者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市外・県外在住者が移住することにより、人口が増加します。

事務事業の内容、やり方、手順

市外・県外在住者に対し本市の居住地としての魅力をPRすることで、移住者の増加を目指します。

【令和3年度実績】
①JOIN移住・交流&地域おこしフェアに出展
②テレビ番組の制作・放送
③電子ブック版「山武市魅力発信マガジン」の制作・掲載
④移住定住PRイベント会場（銀座駅）にパンフレット等を配架
⑤「全国版空き家バンク」に市の情報を掲載
⑥転入者向けチラシの制作
⑦「ちば家博 九十九里・外房エリアガイドブック」に市の情報を掲載

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
PR等実施回数	回	4	7	4
成果状況				
相談件数	件	4	17	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,832	916	0	0	0	916	
03年度 実績	942	0	0	0	0	942	
04年度 当初	1,001	0	0	0	0	1,001	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度と比較して、PR等実施件数は3件、移住相談件数は13件増加しており順調です。
＜原因＞
徐々にイベントを開催することができるようになったことやコロナを機に幅広い世代で地方移住への関心が高まっていることが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人	398	585	1,396
結婚する意欲のある独身者の割合	%	79.3	71.3	80

事務事業名 三世代同居等支援事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	04	施策名	子育ての支援	
基本事業番号	06	基本事業名	次世代育成に係る家族形成の支援	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2081

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

三世代同居または近居をするために市内へ転入した者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

三世代同居または近居をする方が増加し、子育てしやすい環境が整備されるとともに、若い世代の山武市への移住定住促進が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

三世代同居または近居をするために市内へ転入した方に対し、住宅取得等にかかる費用を補助しました。
<補助内容>
住宅の購入、新築、建替え、増築又はリフォーム工事のいずれかに要した費用の2分1の額（上限 75万円）を補助。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
三世代同居等支援補助金申請受付件数	件	0	8	15

成果状況	単位	02年度	03年度	04年度
三世代同居等支援補助金を活用した転入者数	人	0	22	45
三世代同居等支援補助金交付額	千円	0	6,000	11,250

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	6,000	0	0	0	0	6,000	
04年度 当初	11,250	0	0	0	0	11,250	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>昨年度と比較して、転入者数は22人、補助金交付額は600万円増加しており順調です。
<原因>転入者数、補助金交付額が増加した理由としては、不動産業者にチラシを配布したことやテレビ番組で支援制度を広報したことにより、市外住民にも制度の周知が進んだことが影響していると考えられます。なお、交付額が見込みを下回ったのは、新型コロナウイルス感染症の影響により住宅工事の完了が遅延し、年度内に補助金の交付申請に至らなかったためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
出生者数(計画期間累計)	人	398	585	1,396
結婚する意欲のある独身者の割合	%	79.3	71.3	80

事務事業名 生活困窮者自立相談支援事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいをもち安心して暮らせるまちづくり		
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進		
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実		
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度		事務事業整理番号	1823	

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活困窮者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護に至る前の段階から早期に支援を行うことにより、生活困窮状態からの早期自立を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

生活困窮者からの相談を受け、①生活困窮者の抱えている課題を評価・分析し、そのニーズを把握、②ニーズに応じた支援が計画的かつ継続的に行われるよう自立支援計画を策定、③自立支援計画に基づく各種支援が包括的に行われるよう関係機関との連絡調整を実施します。上記の業務を社会福祉協議会への委託により実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
相談件数	件	342	251	260
成果状況				
相談件数に対する生活困窮者自立支援法に基づく支援実施件数の割合	%	6.1	5.1	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	18,425	8,735	0	0	0	9,690	
03年度 実績	21,675	9,418	1,889	0	0	10,368	
04年度 当初	20,639	9,319	0	0	0	11,320	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>生活困窮者からの新規相談は91件減りましたが、未だ多い状態です。
<原因>新型コロナウイルス感染症の長期的なまん延によるためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
生活困窮者相談件数	件数	2,332	2,501	1,520

事務事業名 住民税非課税世帯等臨時給付金給付事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進	
基本事業番号	03	基本事業名	生活困窮者自立支援の充実	
計画年度	令和 03 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2195

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・令和3年度住民税均等割が非課税の世帯
・新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変し、住民税非課税世帯と同程度の水準と認められる世帯

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

住民税非課税世帯及びコロナウイルス感染症の影響による家計急変世帯に対し10万円を速やかに支給し、生活の支援を行うものです。

事務事業の内容、やり方、手順

・令和3年12月10日時点での世帯状況を確認し、令和3年度住民税非課税世帯（課税者の扶養親族のみからなる世帯は除く）に対して「確認書」を送付し、迅速な給付を行います。確認書の返送から2週間程度で口座振込により支給を行います。

・令和3年1月以降にコロナの影響で家計が急変した世帯については、申請により給付を行います。

・申請期限は、令和4年9月30日までです。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
申請方式件数及び確認書送付件数			5,981	1,000
成果状況				
給付件数割合			88.5	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	531,599	531,499	0	0	0	100	
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和3年度から実施の事業です。申請方式で59件、通知方式にて5,922件に確認書を送付し、令和3年度末で5,294件の給付を完了しました。
＜原因＞
令和3年度の課税状況が判明している対象者に、確認書によるプッシュ型での支給と併せて事務委託を行うことで、短期間に大量の支給に対応できたことによるものです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
生活困窮者相談件数	件数	2,332	2,501	1,520

事務事業名 生活保護者扶助事業

保健福祉部 社会福祉課

政策番号	04	政策名	だれもが生きがいを持って安心して暮らせるまちづくり	
施策番号	05	施策名	地域福祉の充実とセーフティネットの推進	
基本事業番号	04	基本事業名	生活保護制度の適正な実施	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 302

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

生活保護受給者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生活保護法に基づいた最低限度の生活を送り、自立が可能となります。

事務事業の内容、やり方、手順

生活保護法に基づき、被保護者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに自立を助長。
<保護の種類>
生活扶助、住宅扶助、教育扶助、介護扶助、医療扶助、生業扶助、葬祭扶助、出産扶助、就労自立給付金、保護施設事務費及び委託事務費

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
生活保護申請件数	件	83	95	80
生活保護開始件数	件	67	72	65
成果状況				
年度末日現在の生活保護受給世帯の実数	世帯	356	371	380
当該年度中の生活保護廃止世帯のうち、廃止原因が自立によるものの世帯数		12	12	9

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	703,665	513,715	15,203	0	13,787	160,960	
03年度 実績	650,387	470,817	16,265	0	4,592	158,713	
04年度 当初	770,025	577,366	0	0	212	192,447	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和3年度の生活保護受給世帯数は371世帯で、前年度と比較して15世帯増加していますが、自立による生活保護廃止世帯は12世帯で、前年度と同数であり概ね順調です。
<原因>
令和3年度における保護開始世帯は72世帯で、主な理由は傷病、預貯金の減少によるものです。保護廃止世帯は67世帯で、主な理由は死亡によるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
自立による生活保護廃止件数	件	12	12	9

事務事業名 英語教育推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり
施策番号	01	施策名	学校教育の充実
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 1903

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

英検取得により英語力が向上し、グローバル人材が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市内中学生1名につき1回、英検受験料の補助（全額）を実施。
また、英検の実施に合わせて、市内各中学校において英検集中講座を実施。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
英検を実施した学校数	校	5	5	4
成果状況				
中学校卒業時の英語検定3級以上取得割合	%	32.8	46.4	50

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	7,404	0	0	0	0	7,404	
03年度 実績	3,709	0	0	0	500	3,209	
04年度 当初	3,828	0	0	0	3,828	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
中学校3年生の3級以上の取得割合が令和2年度より13.6ポイント向上しました。

<原因>
市内中学生に英語検定3回中の1回受験料の全額補助を行い、英語検定対策講座を夏季・冬季に開設することは定着してきました。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、オンラインによって中止にすることなく、英語検定対策講座を実施となりました。そのため、取得割合の向上につながっていると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	62.1	62	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	66.4	55.3	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	32.8	46.4	50

事務事業名 学力向上支援事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	01	基本事業名	「確かな学力」の向上と「活きた学力」の推進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2071

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内小学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童一人一人のニーズに対応した学習環境が整っています。
「やる気を育てる学習支援」により、主体的に学びあう児童が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

・学力向上推進指定校（小学校2校）を決定（輪番）2・3年生の算数を対象として、授業内でチームティーチングによる学力向上に特化した少人数指導を実施。
【小学校】週5日（2年生・3年生）
1学期40日、2学期40日、3学期30日（1日1時間）
・教員のスキルアップを図るため、授業で教員等にアドバイスや相談等の支援を実施。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
支援学校数	校	4	2	4
成果状況				
勉強が好きと回答した児童生徒の割合	%	77.5	88.4	80

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,026	0	0	0	0	2,026	
03年度 実績	908	0	0	0	0	908	
04年度 当初	2,075	0	0	0	0	2,075	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和3年度の「勉強が好きと回答した児童生徒の割合」は、88.4%となりました。
<原因>事後アンケートにて、対象教科（算数・数学）が「好き・まあまあ好き」と回答した割合が、10.9ポイント上昇しました。個々の回答を見ると、「好きではない」と回答した児童が減少しています。算数への苦手意識を持つ児童には、よりきめ細やかな支援が必要です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学力の向上が見られる児童の割合	%	62.1	62	60
学力の向上が見られる生徒の割合	%	66.4	55.3	56
中学校卒業時に英語検定3級以上を取得している生徒の割合	%	32.8	46.4	50

事務事業名 ICTサポート事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	04	基本事業名	ICT教育の実践	
計画年度	平成 26 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1787

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市内小中学校児童・生徒・教職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

授業などにおけるICT活用を円滑に進める環境が整っています。

事務事業の内容、やり方、手順

学校でのICTを活用した授業を支援するため、外部人材を派遣します。
派遣回数
平成26年度：7回×19校 令和元年度：16回×17校
平成27年度：40回×19校 令和2年度：16回×17校
平成28年度：29回×19校 令和3年度：33回×16校
平成29年度：28回×19校 令和4年度：33回×15校
平成30年度：18回×19校 令和5年度：22回×15校
以降の派遣回数は、成果向上の状況により検討する予定です。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
教員のICT活用を支援する外部人材の派遣回数	回	16	33	33
成果状況				
ICTを活用した授業を実施した教員の割合	%	87	87	86

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	7,031	0	0	0	0	7,031	
03年度 実績	13,649	0	0	0	0	13,649	
04年度 当初	13,613	0	0	0	0	13,613	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>前年と同様の指標となっています。
<原因>ICT支援員の支援により授業でのICT機器活用が定着しているためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた児童の割合	%	53.5	56.7	60
ICT機器の活用により学習意欲に向上が見られた生徒の割合	%	39.4	47.8	45
授業にICT機器を積極的に活用した教職員の割合	%	51	64	50

事務事業名 小中学校閉校・開校事業

教育部 教育総務課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1973

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校統合に伴い閉校・開校となる学校

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校統合に伴い閉校・開校する学校の準備を円滑に行います。

事務事業の内容、やり方、手順

閉校・開校する学校の準備を行います。

- ・閉校式典等に対する補助金交付（記念誌、記念品含む）
- ・引越作業、不用品の廃棄
- ・校章、校旗、校歌作成にあたっての準備及び執行

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
統合に伴い閉校となる学校数		4	2	0
成果状況				
過小規模校数		0	0	0
閉校記念実行委員会設立数		2	2	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	13,216	0	0	0	12	13,204	
03年度 実績	9,981	0	0	0	233	9,748	
04年度 当初	2,255	0	0	0	1	2,254	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
蓮沼中学校と松尾中学校の統合準備が整い統合中学校である山武望洋中学校が、令和4年4月に開校しました。市内小中学校の複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数は目標値の0を達成しています。

<原因>
令和2年8月に設置した学校統合準備委員会により、開校に向けた全ての協議が令和4年2月に終了しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 小学校施設整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1379

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

専門家による点検や日常点検結果により、小学校施設等で起きた不具合、故障、損傷、経年による危険箇所を一般財源で対応できる箇所の修繕や改修工事等を行います。
令和3年度は、学校要望や法的点検等で指摘を受けた箇所の修繕や改修工事等を実施しました。
主な工事は、消防施設保安点検結果に基づく修繕工事や雨漏り修繕工事、山武北小学校西校舎外壁等修繕工事を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
修繕及び工事件数	件	63	66	100
修繕及び工事費	千円	26,635	23,670	19,628
成果状況				
児童一人当たりの経費	円	14,213	13,042	10,474

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	26,635	0	0	0	2,268	24,367	
03年度 実績	23,670	0	0	0	3,720	19,950	
04年度 当初	23,931	0	0	0	0	23,931	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 全体的に老朽化・機能低下が進んでいますが施設の不具合などによる事故は発生しなかったことから、順調です。

<原因> 専門家による点検や日常点検により、危険箇所を把握し、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施したことで不具合などによる事故は発生しませんでした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 中学校施設整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1380

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校に通う生徒や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生徒や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

専門家による点検や日常点検結果により、中学校施設等で起きた不具合、故障、損傷、経年による危険箇所等を一般財源で対応できる箇所の修繕や改修工事等を行います。
令和3年度は、学校要望や法的点検等で指摘を受けた箇所の修繕や改修工事等を実施しました。
主な工事は消防施設保守点検結果に基づく修繕工事や山武望洋中電子黒板設置に係る下地工事を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
工事件数	件	37	37	55
修繕及び工事費	千円	16,400	11,766	10,385
成果状況				
生徒一人当たりの経費	円	14,923	10,815	9,364

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	18,798	0	0	0	2,611	16,187	
03年度 実績	11,767	0	0	0	86	11,681	
04年度 当初	11,046	0	0	0	0	11,046	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 全体的に老朽化・機能低下が進んでいますが施設の不具合などによる事故は発生しなかったことから、順調です。

<原因> 専門家による点検や日常点検により、危険箇所等を把握し、損傷が軽微である早期段階から予防的な修繕等を実施したことで不具合などによる事故は発生しませんでした。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 松尾小学校新校舎整備事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 29 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 1921

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾小学校に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

統合により整備された小学校が、児童や教職員、保護者等にとって安心・安全な学習環境を作り出す。

事務事業の内容、やり方、手順

規模適正化・適正配置基本計画に基づき、豊岡小学校と松尾小学校が統合しました。新しく使用する松尾小学校が老朽化のため、校舎を改築します。
令和3年度は、本校舎躯体・屋根・内装等の工事を実施しました。
（令和4年度までの継続事業）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
委託件数	件	4	2	4
工事件数	件	1	1	3
成果状況				
供用開始までの事業進捗率	%	73.83	92.27	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	215,669	0	0	144,300	71,369	0	
03年度 実績	978,233	0	0	834,900	143,333	0	30,547
04年度 当初	1,635,687	0	0	1,186,000	449,160	527	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和3年度実施の事業については、計画どおり出来たため、順調です。
＜原因＞
地域住民のご理解や学校職員、施工業者、工事監理業者、市等の連携を密にし、様々な事態に柔軟に対応出来たためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 小学校施設改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度				事務事業整理番号 2011

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

小学校11校のうち、鳴浜小学校（保健室シャワーユニット）に通う児童や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

児童や教職員、保護者等にとって衛生的に安心できる環境になりました。

事務事業の内容、やり方、手順

小学校施設等に起きた不具合、故障、損傷、経年による不良箇所の修理や改修等を行いました。
内容は、鳴浜小のみが備わっていなかった、児童の失禁等に対応するためのシャワーユニットの設置を行いました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
修繕及び工事件数	件	1	1	1
修繕及び工事費	千円	25,913	1,210	34,375
成果状況				
児童一人当たりの経費	円	14,634	667	18,939

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	27,424	0	0	20,500	6,924	0	
03年度 実績	1,705	0	0	300	195	1,210	
04年度 当初	36,768	0	0	27,200	9,186	382	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 予定どおり改修工事が完了しているため、順調です。
<原因> 令和3年度1月補正により財源を確保し、早急な対応が出来たためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 中学校空調設備改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 2075

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校5校のうち松尾中に通う生徒や教職員、保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生徒や教職員、保護者等にとって安心できる学習環境になりました。

事務事業の内容、やり方、手順

松尾中学校の空調設備が老朽化により故障が頻発していたため、改修工事を行いました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
委託件数（工事設計）		1	0	0
工事件数（工事監理委託を含む。）		0	2	0
成果状況				
大規模改修実施率		0	100	0
小規模改修率		0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	4,180	0	0	0	0	4,180	
03年度 実績	222,825	0	0	78,200	137,355	7,270	74,791
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
計画どおりに改修工事が出来たため、順調です。
<原因>
国の令和2年度第3次補正予算により、学校施設環境改善交付金が活用できる事となったため、一部を令和2年度3月追加補正予算に計上し、令和3年度に繰り越して工事を実施しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 中学校施設改修事業

教育部 施設整備課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	令和 03 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2140

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

中学校5校のうち松尾中（講堂防水改修・多目的ホール照明交換・グラウンド法面改修）に通う児童や教職員、保護者等（令和4年4月以降：山武望洋中）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

生徒や教職員、保護者等にとって安心・安全な学習環境になりました。

事務事業の内容、やり方、手順

中学校施設等に起きた不具合、故障、損傷、経年による不良箇所の修理や改修等を行いました。補助金や交付金、起債等を含む工事や設計、工事監理等を本事業で行いました。内容は、講堂雨漏りの防水対策、多目的ホール照明の交換、法面保護のための排水改修を行いました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
修繕及び工事件数			3	7
工事費			290,598	24,739
成果状況				
生徒1人当たりの経費			267,586	22,738

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	51,995	0	0	49,300	2,623	72	
04年度 当初	25,710	0	0	2,600	4,668	18,442	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<現状>計画どおり改修工事が完了しているため、順調です。
<原因>学校教育施設等整備事業債を活用し、財源を確保出来たためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 成東学校給食センター施設管理運営事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1026

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

給食受給者
受給者の保護者等
成東学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な管理運営を行うことにより、公平な受益者負担の下に
安全で衛生的な学校給食を提供します。

事務事業の内容、やり方、手順

・学校給食法の規定に基づき賄材料費以外を市が負担して給食センターを運営します。
＜調理・衛生関係＞
・栄養士の指導による調理・衛生計画
・市と委託事業者との打ち合わせ（衛生管理含む）
・給食の調理、配送、回収、洗浄、保管
＜給食費関係＞
・給食申込書等によるデータ作成及び修正
・納付書発行・口座振替の依頼
・督促状等の発行
・臨戸徴収の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
給食数（成東センター調理分）	食	375,347	395,127	377,373
臨戸徴収件数	件	2,775	2,691	2,800
成果状況				
給食を支給できなかった日数	回	0	0	0
市全体の給食費収納率	%	99.67	99.61	99

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	237,506	0	0	0	102,310	135,196	
03年度 実績	248,837	0	0	0	112,455	136,382	
04年度 当初	236,930	0	0	0	106,880	130,050	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
全ての小中学校(11校)に給食を提供できました。収納率は、99.61%となり、維持・横ばいでした。
＜原因＞
給食安定供給のため、厨房設備の計画的な修繕、定期点検による故障個所の早期発見に努めています。
給食費は、口座振替推奨及び督促催促通知並びに臨戸徴収実施により、未納防止解消に取り組んでいます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 学校給食センター施設整備事業

教育部 学校給食センター

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	01	施策名	学校教育の充実		
基本事業番号	05	基本事業名	教育環境の整備		
計画年度	平成 30 年度 ～ 令和 08 年度				事務事業整理番号 1981

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東学校給食センター、山武学校給食センター

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

衛生的かつ安全な学校給食が安定的に供給されます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東学校給食センターおよび山武学校給食センターを統合し、現在の学校給食衛生基準にあった給食センターを整備します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
受託事業者との打合せ回数		2	10	12
成果状況				
進捗率		0	5	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	857	0	0	0	0	857	
03年度 実績	5	0	0	0	0	5	18,821
04年度 当初	51,823	0	0	39,000	2,131	10,692	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>改築工事の基本設計業務委託が予定どおりに進んでおり順調です。

<原因>その理由として、施設整備課の支援を受け、定期的な打合せを実施するなど、工程管理をしっかりと行っていることが考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校施設・給食施設の不具合による学校生活支障件数	件	0	0	0
複式学級（小学校）及び単学級（中学校）の出現数	校	1	1	0

事務事業名 地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1913

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

幼・小・中学生

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・学習の選択肢が広がります。
・子どもたちとシニア世代の相互連携による教えあい、学びあいの場が構築され、グローバル人材が育成されます。

事務事業の内容、やり方、手順

市民協働・地域人材活用の観点から、NPO法人教育サポートGAAに委託し、学校支援センター業務を実施。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
調査研究のための会議実施数	回	45	46	50
成果状況				
学校支援実施回数	件	1,031	1,059	634

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	8,043	4,022	0	0	0	4,021	
03年度 実績	8,013	0	0	0	4,006	4,007	
04年度 当初	8,010	0	572	0	7,438	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
令和3年度の学校支援実施回数は、1,059回となり、前年度の1,031回と比べ同程度の支援が実施できました。
＜原因＞
「学校の困ったにマッタする」を基本理念に、学校が要望する支援を実施しているため、支援依頼回数は年々増加しています。令和3年度は、1,059回のうち外国人児童生徒への支援が384回を占める結果となり、前年度同様に日本語支援へのニーズが高い状況が続いています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	395	498	600
コミュニティ・スクール導入学校数	校	2	4	3

事務事業名 コミュニティ・スクール推進事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	01	施策名	学校教育の充実	
基本事業番号	06	基本事業名	地域と学校の協力体制の推進	
計画年度	令和 01 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2012

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

学校の教職員・生徒 地域住民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となった 特色ある学校づくりの推進。
--

事務事業の内容、やり方、手順

各小中学校に学校運営協議会を設置し、学校運営や学校・地域の 共通課題解決にむけた協議し、地域とともに特色ある学校づ くりを進め、コミュニティ・スクールの導入を推進。 まずは、統廃合による新設校からコミュニティ・スクールの導 入。 【手順】 4月～ 学校運営協議会の設置（新設時） 市教育委員会（委員委嘱） 年2回～3回 会議の開催（学校運営の基本方針の承認、学校 ・地域課題解決などの協議） 2月 学校評価の実施	
--	--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
協議会の開催回数		8	16	20
成果状況				
活動部会数		2	4	5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	366	0	0	0	0	366	
03年度 実績	582	0	0	0	0	582	
04年度 当初	1,434	0	0	0	0	1,434	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>コミュニティ・スクール導入学校数は4校となり成果は順調です。 <原因>学校統廃合による新設校から導入を進め3校に設置できたことや、新設校以外にも地域との連携推進により 導入に至った学校が1校あったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
学校教育活動に協力した市民数	人	395	498	600
コミュニティ・スクール導入学校数	校	2	4	3

事務事業名 成東文化会館改修事業

教育部 文化会館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	平成 30 年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 1549

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東文化会館のぎくプラザ利用者（成東図書館利用者を含みます）
山武市殿台290-1 成東文化会館のぎくプラザ

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成東文化会館のぎくプラザが常時正常に稼動することにより安心・安全に施設を使用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東文化会館のぎくプラザを適切に維持するため、耐用年数を超過した設備や経年劣化により機能が低下している設備の改修工事について優先順位を決め、計画的に実施します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
委託件数	件	3	1	0
工事件数	件	2	2	0
成果状況				
改修進捗率（複数年度）	%	100	100	0
改修進捗率（単年度）	%	30	100	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	208,224	0	0	196,700	11,524	0	21,076
03年度 実績	81,172	0	0	73,000	8,172	0	
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
屋上防水等改修工事及びエレベーター改修工事が概ね計画通り完了しました。
＜原因＞
貸館状況や工事の進捗状況を随時確認し、関係部署、工事業者、監理業者との調整を実施したことにより、円滑に実施できたことが要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	74,568	128,246	326,900

事務事業名 成東中央公民館施設管理運営事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 1055

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・成東中央公民館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設を安全に利用していただける状態にします。

事務事業の内容、やり方、手順

施設の概要：1 F 第1会議室、2 F 視聴覚室、第1・2研修室、第2・第3・第4会議室、3 F 講堂
利用料金（1時間当たり）：講堂は市内550円・市外1,100円、第1会議室・視聴覚室は市内440円・市外880円、第1・2研修室・第2会議室は市内330円・市外660円、その他は市内220円・市外440円
休館日：毎週月曜日（但し月曜日が祝日法に規定する休日に当たる場合は、その翌々日）、祝日法に規定する休日の翌日、年末年始（12月29日から翌年1月3日まで）
開館時間：午前9時から午後5時（夜間開放日は午後9時まで）
受付は直営で対応し、維持管理については業者委託で対応しています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
施設補修件数	件	6	4	2
開館日数	日	186	253	293
成果状況				
不具合発生件数	件	0	0	0
成東中央公民館年間利用者数	人	12,243	16,576	18,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	12,976	0	0	0	557	12,419	
03年度 実績	9,113	0	0	0	646	8,467	
04年度 当初	9,638	0	0	0	838	8,800	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>前年度に比べ開館日数が、67日増加、年間利用者は4,333名増加しています。また、施設の不具合発生件数は0件でした。
<原因>利用者の増加はコロナの影響の軽減に伴い開館日数が増加したことによるものです。不具合発生件数については、日常的な点検と、早期修理に努めた結果です。
修繕箇所:バルコニーシーリング打ち替え工事、雨漏り箇所修繕工事、自動ドア開閉装置部品交換等

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	74,568	128,246	326,900

事務事業名 松尾公民館施設管理事業

教育部 公民館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	平成 28 年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 1890

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・松尾公民館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安全で安心な施設を維持管理しています。

事務事業の内容、やり方、手順

（施設の概要）
・スタジオ：A・B・C・D 合計4室
・授乳室、男女更衣室、シャワー室、情報コーナー、キッズルーム
・駐車場、アーケード、芝生広場及び石庭
・開館時間：午前9時から午後9時30分
・休館日：毎週月曜日 年末年始（12月29日～1月3日）
・施設利用の受付は直営で対応し、維持管理については、業者委託で対応。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
施設補修件数		7	0	0
開館日数		194	272	309
成果状況				
不具合発生件数		0	0	0
年間スタジオ利用者数		11,319	10,572	12,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	7,905	0	0	0	1,526	6,379	
03年度 実績	6,107	0	0	0	1,983	4,124	
04年度 当初	6,836	0	0	0	1,874	4,962	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
不具合発生件数は0件です。前年度に比べ開館日数は78日増加しましたが、スタジオ利用者数は747人減少しました。
＜原因＞
不具合発生件数については、修繕が必要な不具合が発生しなかったためです。開館日数が増加しているにもかかわらず利用者が減少した理由は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ダンススタジオの利用を控える者が多かったためと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	74,568	128,246	326,900

事務事業名 松尾図書館運営事業

教育部 図書館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1044

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

図書館利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多くの市民が図書館を利用するようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

図書館を運営し、サービスを行うにあたり、会計年度任用職員の採用や、図書の整備、各種事業を実施しました。

<運営方法>

- ・開館時間：午前9時30分～午後6時
- ・休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌々日）
祝日の翌日
年末年始（12月29日～1月4日）
館内整理日（毎月第3木曜日）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
開館日数	日	182	250	283
松尾図書館蔵書冊数	冊	91,750	92,242	85,000
成果状況				
松尾図書館の利用登録者数	人	8,107	8,267	7,500
松尾図書館貸出冊数	冊	64,155	64,510	65,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	22,450	0	0	0	17	22,433	
03年度 実績	16,620	0	0	0	10	16,610	
04年度 当初	17,757	0	0	0	3	17,754	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
①前年度と比較して、利用登録者数は160人増加しました。②前年度と比較して、貸出冊数は355冊増加しました。
<原因>
①小学一年生の登録の増加が要因と考えられます。
②感染症対策により臨時休館しましたが、前年度より開館日数が68日増加し、順調に活動できたことが、増加の要因と考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	74,568	128,246	326,900

事務事業名 さんぶの森公園改修事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	02	基本事業名	生涯学習施設の利用促進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 06 年度			事務事業整理番号 2074

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

さんぶの森公園の施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公園利用者が、安心安全に利用できる環境になります。

事務事業の内容、やり方、手順

・老朽化した木道、園路灯について、撤去・更新工事の実施及び工事管理業務委託の実施
・老朽化した園路灯の長寿命化計画変更に係る健全度調査業務委託の実施及び撤去・更新工事の実施

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
委託件数		1	2	1
工事件数		0	2	1
成果状況				
改修進捗率		30	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,980	0	0	0	0	1,980	
03年度 実績	47,288	22,000	0	0	24,877	411	
04年度 当初	1,952	0	0	0	0	1,952	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和3年度については、当初の成果指標より、多くの改修工事を行ったことから、成果は向上しています。
<原因>
当初は木道及び園路灯5基の撤去・更新工事を予定していましたが、交付金の活用により園路灯については、15基の撤去・更新工事を行ったことから、公園内施設の改修が進み成果は向上していると考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
生涯学習施設の利用者数	人	74,568	128,246	326,900

事務事業名 食虫植物群落保護管理事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 953

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

天然記念物「成東・東金食虫植物群落」
見学者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

当群落が、国指定天然記念物として、指定解除や植物が滅失しないよう良好な状態で後世に引き継がれます。また、当群落の案内などの活用を通して文化財普及が推進されます。

事務事業の内容、やり方、手順

主な保護事業
・食虫植物群落の監視
・食虫植物群落管理（除草・除根・野焼き等）年間9回
・食虫植物保全調査（水質・地下水位）
見学者、観察会対応
・案内に替り観察できる植物の資料配布
今後の保護施策作成
・保存活用計画策定委員会の開催 2回

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
予算等で計画した保護事業（作業等）の件数	回	9	9	9
見学者への対応	人	1,610	2,393	3,300
成果状況				
予算等で計画した保護事業（作業等）の実施件数	回	9	9	9
見学者数	人	1,610	2,393	3,300

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,284	530	66	0	927	761	
03年度 実績	1,746	530	66	0	995	155	
04年度 当初	1,841	530	66	0	647	598	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>保護事業については計画どおり9回実施しました。見学者数については前年度より783人増加しましたが、年度当初の想定3,000人より607人、下回る結果となりました。
<原因>見学者数についてはコロナ禍による移動自粛の影響と、8月20日から9月30日までの緊急事態宣言発令を受けての休場によるものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	-	-	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	4,219	5,302	10,000

事務事業名 伊藤左千夫顕彰事業

教育部 歴史民俗資料館

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	03	基本事業名	文化財の保護・活用	
計画年度	平成 30 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1985

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民・来館者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民に伊藤左千夫の偉業・功績を伝えます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市の生んだ短歌の鉄人「伊藤左千夫」の偉業・功績を後世に伝えます。
第70回左千夫短歌大会 年1回
伊藤左千夫家墓地清掃 年4回

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
顕彰事業回数	回	5	5	6
成果状況				
顕彰参加数（人数・詠草数）	人	3,455	3,447	3,500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	687	0	0	0	73	614	
03年度 実績	673	0	0	0	645	28	
04年度 当初	997	0	0	0	997	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
第70回左千夫短歌大会、伊藤左千夫家の墓所の清掃はウィズコロナの状況に対応して実施しましたが、左千夫茶会は実施できませんでした。
＜原因＞
左千夫茶会は、開催会場が左千夫生家であるため密集度が高く、また使用する茶器の消毒などウィズコロナの中での開催が困難だったためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市民が認識している市内文化財数(全13項目)	項目	-	-	7.8
文化財を活用した事業・施設への参加者・入館者数	人	4,219	5,302	10,000

事務事業名 成人式開催事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 966

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

新成人者（対象年4月2日から翌年4月1日までに生まれた者）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

青年を祝い励ます式典を行うことにより、成人になったことを自覚し、社会人の一員として自ら生き、責任ある行動をとれるようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

《手順》
市の成人式は新成人対象者から、成人式実行委員を募集し、実行委員会形式で実施。（2中学校区ごと3部構成）
実行委員会を年6回程度開催し、成人式の企画、運営、記念品の選定等を検討。
《場所》
山武市成東文化会館のぎくプラザ
《内容》
前年度からの延期開催分と通常開催分の2回成人式を開催しました。実行委員会は延期開催分2回、通常分7回開催しました。（いずれもオンラインアンケートを含む。）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
成人式出席者数	人	0	565	417
実行委員会との打合せ回数	回	7	9	7
成果状況				
成人式の出席率	%	0	69.07	75
成人式の企画に関わった新成人数（実行委員数）		30	34	30

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	489	0	0	0	0	489	
03年度 実績	668	0	0	0	0	668	
04年度 当初	496	0	0	0	0	496	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
前年度の成人式が延期開催となり令和3年度は2回の開催となりました。このため出席者数は令和元年度に比べ多くなっていますが、出席率は延期分63.01%、通常分75.44%、平均69.07%となり平均した出席率は低下しています。
＜原因＞
延期開催となった事により出席率が低下したと考えられます。通常分のみを比較した場合は令和元年度と比べ2.84ポイント向上しています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	65	856	3,482
海外派遣事業応募者数	人	-	-	35

事務事業名 少年海外派遣支援事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 976

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内在住の中学生・高校生
少年海外派遣団

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

海外で、その自然・文化及び社会情勢・福祉活動等を体験することにより、広い視野と国際感覚が身につきます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市少年海外派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付します。

研修生は、募集時に提出した作文及び面接により選考
募集定員は18名（他、団長・随行員各1名）
事前研修4回、事後研修1回実施
8月中旬ごろ出発、6泊8日

※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大による影響で中止。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
打合せ日数（面接・結団式・研修会）	日	0	0	7
成果状況				
海外派遣により、国際感覚が身についたと思う参加者の割合	%	0	0	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初	516	0	0	0	0	516	

※繰越額は、当該年度の事業費のほか、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
渡航状況等の情報を取り入れながら事業実施に向け検討しましたが中止になりました。

<原因>
新型コロナウイルスの影響により渡航制限等の改善見込みが立たなかったためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	65	856	3,482
海外派遣事業応募者数	人	-	-	35

事務事業名 山武市青少年派遣事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進	
基本事業番号	05	基本事業名	青少年の育成	
計画年度	平成 27 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1858

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に在住または在学する中学生・高校生
山武市青少年スリランカ派遣団

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

スリランカ国の人や自然、社会、文化等に触れることにより、異文化理解力及びコミュニケーション能力が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市青少年スリランカ派遣団からの補助金申請に対して、内容を審査し交付の可否を決定し補助金を交付します。

※東京オリンピック・パラリンピック延期に伴い令和3年度の派遣等は休止しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

打合せ回数（面接・結団式・研修会）

単位

02年度

03年度

04年度

回

0

0

0

成果状況

スリランカ国への派遣により、異文化理解能力及びコミュニケーション能力が向上したと思う参加者の割合

%

0

0

0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞東京オリンピック・パラリンピック延期に伴い令和3年度は事業を休止しました。令和4年度以降の事業調整を計画していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の中止を決定しました。
＜原因＞新型コロナウイルスの影響により渡航制限等の改善見込みが立たなかったためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
青少年育成事業・体験学習への児童・生徒参加者数	人	65	856	3,482
海外派遣事業応募者数	人	-	-	35

事務事業名 生涯学習振興大会開催事業

教育部 生涯学習課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり		
施策番号	02	施策名	生涯学習の推進		
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進		
計画年度	年度 ～ 年度				事務事業整理番号 961

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民（社会教育関係者、PTA関係者、一般）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

自己研磨及び生涯学習に対する理解が深まります。

事務事業の内容、やり方、手順

社会教育委員、社会教育関係者、PTA関係者等を対象に講演会等を開催しました。
山武市生涯学習振興大会は隔年開催事業であり、令和3年度については事業を実施しました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
打合せ回数	回	0	4	0
成果状況				
参加者数	人	0	85	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	168	0	0	0	0	168	
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>生涯学習振興大会は隔年で実施しています。
令和3年度の実施に向け、社会教育委員会において年4回の打合せを行いました。順調に準備を行っています。
<原因>新型コロナウイルス感染症の予防対策として、大会参加者においては事前予約制を導入するとともに、会場が密にならないよう客席指定としました。結果として延べ85名が参加し、自己研磨が図られました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値

事務事業名 スポーツ協会補助事業

教育部 スポーツ振興課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	03	施策名	スポーツの振興	
基本事業番号	01	基本事業名	スポーツ活動の充実	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1187

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

山武市スポーツ協会

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市スポーツ協会の活動が活性化し、市内のスポーツ推進体制が充実します。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市スポーツ協会の運営に要する経費の補助
1. スポーツ協会の運営：年間事業に係る会議ほか
①総会（5月上旬）、理事会（年8回）、役員会（年2回）の開催
2. 専門部の活動（19専門部）：各種大会出場、会議ほか
①前年度の活動実績により助成金を決定（5月）
②事業計画及び予算、助成金交付申請及び請求の受付（6月）
③実績報告（3月）
3. 支部の活動（11支部）：市民体育祭、支部体育大会、会議ほか
①助成金の支給（6月）、1支部6万円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
主催・主管の大会・研修・講習会等に係る会議の開催回数	回	8	8	18
助成金を交付した加盟団体数	団体	31	29	31
成果状況				
主催・主管の大会・研修・講習会等の件数	件	0	0	7

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,370	0	0	0	0	1,370	
03年度 実績	1,752	0	0	0	0	1,752	
04年度 当初	4,493	0	0	0	0	4,493	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
主催または主管の大会等が中止となり、事業成果は低下しています。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、健康・安全面の配慮があったことが原因と考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
スポーツ大会・教室へ参加した市民の割合	%	5.7	5.9	14.6
スポーツ大会・教室の機会の充足度	%	65.9	65.1	66.2

事務事業名 松尾運動公園管理事業

教育部 運動公園管理事務所

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	03	施策名	スポーツの振興	
基本事業番号	03	基本事業名	体育施設の利用促進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1375

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

松尾運動公園及び豊岡体育館の施設利用者

事務事業の内容、やり方、手順

- ・樹木や除草について直営管理
- ・適時、故障箇所について修繕実施
- ・施設のトイレについて清掃業務委託
- ・高木の剪定や消毒作業、寄植の刈込作業について業務委託の実施
- ・令和3年度に豊岡体育館の改修工事の実施

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・松尾運動公園（豊岡体育館を含む。）を快適に利用いただきます。
- ・施設整備により不具合が解消され、施設を快適に、かつ、安全に利用いただきます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
施設の利用者数	人	6,736	7,547	8,000
施設管理上の不具合、トラブル数		0	0	0
成果状況				
施設の利用者数	人	6,736	7,547	8,000
施設管理上の不具合、トラブル数	数	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	12,340	0	0	0	677	11,663	
03年度 実績	11,520	0	0	0	4,424	7,096	
04年度 当初	6,783	0	0	0	875	5,908	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>施設の利用者数は、当初の成果指標より大幅に減少しており、低下しています。また、施設管理上の不具合やトラブルはありませんでした。

<原因>令和2年度に引き続き、コロナウイルス対策として、施設が利用できない時期があったことや利用者が自主的に活動を制限する傾向があったことから利用者数が減ったものと考えられます。また、施設については、施設管理上の不具合や瑕疵もなく、適切な管理が行われたものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
体育施設の利用者数	人	48,785	71,523	148,122
体育施設の修繕件数	件	0	0	0

事務事業名 子ども人権(CAP)事業

教育部 子ども教育課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	01	基本事業名	人権教育・人権啓発の推進	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 974

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市立小学校、幼稚園、こども園の児童とその保護者等

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

保護者が子どもの人権について、また、子ども同士でもお互いの人権について正しく理解出来るようになります。

事務事業の内容、やり方、手順

子ども人権（CAP）に関する子ども向けプログラムおよび、教職員・保護者など大人を対象としたプログラムを市内各園（私立保育園含む）・小学校での実施を働きかけ、実施した際は講師費用等を負担します。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
開催回数	回	23	9	30
成果状況				
延べ参加者数	人	312	113	500

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	655	0	0	0	0	655	
03年度 実績	300	0	0	0	0	300	
04年度 当初	1,034	0	0	0	0	1,034	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和2年度実績より開催回数が小学校3回、幼稚園・こども園7回、大人4回減少したため、参加人数も199人減少しました。
<原因>新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた時期に開催できなかったことが考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
この1年間に人権について学んだことのある市民の割合	%	26.7	25.2	24.3
この1年間に人権侵害をするような言動や行動をした市民の割合	%	7.9	8.5	10.5

事務事業名 人権相談事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	05	政策名	生涯を通じて人と人とがふれあい共に学びあえるまちづくり	
施策番号	04	施策名	人権尊重のまちづくり	
基本事業番号	02	基本事業名	人権擁護の推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 207

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

人権が侵害されていると感じる人がいなくなり、互いに相手を思いやり、ともに幸せに暮らせます。

事務事業の内容、やり方、手順

人権擁護委員法に基づき法務大臣から委嘱された人権擁護委員による人権相談、啓発などの人権擁護活動を行いました。
・相談所開設：原則毎月第1～4火曜日、市内4地区
・広報：相談所開設日の広報誌への掲載（毎月）
・啓発：人権週間中の啓発物品配布

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
相談所開設回数	回	2	29	47
啓発活動の回数	回	1	1	2
成果状況				
人権が尊重されていると思う市民の割合	%	55.7	55.3	58.5

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	328	0	0	0	0	328	
03年度 実績	323	0	0	0	0	323	
04年度 当初	349	0	0	0	0	349	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>人権が尊重されていると思う市民の割合は55.3%で、昨年度と比較して0.4%減少しています。
<原因>新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、人権相談所の開設、啓発活動が計画通りできなかったためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
人権侵害に対する措置件数	件	620	808	424

事務事業名 地域まちづくり事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	02	基本事業名	市民活動の活性化
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 1337

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民(小学校区)

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

各小学校区を基準として区域内で活動する自治会、区を基盤に、地域で活動する団体・組織が、緩やかに連携・協力することで地域の特性を生かし、コミュニティ活動がさらに活発化するとともに地域の課題を地域で解決していきます。

事務事業の内容、やり方、手順

地域まちづくり活動を効果的に推進するため、その地域の特性や実情に合わせて、区・自治会各種地域団体、NPO法人、ボランティア団体、事業者及び市民等の様々な担い手が協力しながら、地域自らが地域課題に取り組む地域まちづくり協議会の運営や活動に対する補助金を交付しました。
・補助対象：蓮沼むらづくり協議会
山武西まちづくり協議会
緑海まちづくり協議会

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
協議会への理解度	%	25	27.27	30.76
成果状況				
協議会数	区	3	3	3

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	3,113	0	0	0	2,445	668	
03年度 実績	3,525	0	0	0	2,278	1,247	
04年度 当初	5,927	0	0	0	2,913	3,014	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞協議会数は3団体で、前年度と同数です。協議会への理解度は27.27%で、前年度に比べて2.27ポイント増加しました。コロナの影響により活動が制限される中で、各協議会における地域課題への取り組みが見られました。
＜原因＞協議会への理解度が増加した原因は、統廃合により12小学校から11小学校に減少したためです。各協議会で構成している団体・組織が連携・協力し合いながら事業展開している取り組みは、他地区においても活動のきっかけになると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市民活動に意欲的な市民割合	%	38.8	39.8	48
市の支援が役立っていると思う市民活動実践者割合	%	88.2	92.6	90

事務事業名 コミュニティ施設整備支援事業

総務部 市民自治支援課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり	
基本事業番号	03	基本事業名	市民活動施設の利用促進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 213

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

各地区

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

地域住民の共同体としての施設整備を支援し、地域住民相互の親睦に寄与するとともに地域住民の負担が軽減されます。

事務事業の内容、やり方、手順

地域社会におけるふれあいのある生活を育成するため、住民が設置するコミュニティ施設を整備する事業に要する経費に対して補助金を交付しました。
・施設（新築・増築・改築）
：床面積1㎡×5万円を補助、限度額700万円、千葉県福祉のまちづくり条例第14条適合の場合は上限800万円
（修理）：事業費の1/3補助、限度額100万円、県条例適合の場合は150万円
（解体）：事業費の1/4補助、限度額50万円
・構内舗装：事業費の1/3補助、限度額30万円

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
要望件数	件	4	4	4
成果状況				
補助金交付決定件数	件	4	4	4

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	12,550	0	5,700	0	0	6,850	
03年度 実績	1,720	0	0	0	0	1,720	
04年度 当初	1,791	0	0	0	0	1,791	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
補助金交付決定件数は4件で、前年度と同数です。
<原因>
地区からの申請に基づくもので、計画通りに事業を実施できています。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市民活動支援施設の利用者数	人	24,285	29,483	45,000
活動場所に困っている市民活動団体の割合	%	25.5	15.1	23

事務事業名 事前キャンプ実施事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	01	施策名	協働と交流によるまちづくり
基本事業番号	05	基本事業名	東京オリンピック・パラリンピック関連事業の推進
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 03 年度		
事務事業整理番号			2072

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

東京2020大会へ出場するスリランカ選手団（オリンピック、パラリンピアン、スタッフ）
市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

東京2020大会において、スリランカ選手団が持てる力の限りを発揮できるコンディションを整えます。
また、市民とスリランカ選手団の交流を通じ、青少年スポーツ・障がい者スポーツの振興及びグローバル化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

東京2020大会開催直前期（2021年7月～8月）にスリランカ選手団のコンディション調整のため実施する事前キャンプを受け入れ、宿泊、食事、移動手段及び練習場所等を確保・提供します。
また、東京2020大会前後の期間において、市民と選手団が身近に触れ合える交流会を開催します。
キャンプ実施期間：20日間（オリ・パラ10日間ずつ）
キャンプ受入人数：50人（オリ・パラ合わせて）
【事前キャンプ中止】

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
大会に出場する選手団等との交流活動開催回数		0	0	
成果状況				
交流活動に参加した市民の満足度		0	0	

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	94	0	0	0	94	0	
03年度 実績							
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ● 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 事前キャンプに係る交流活動は行われませんでした。 <原因> 新型コロナウイルス感染症の影響により、事前キャンプが中止となったことが原因となります。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
東京オリンピック・パラリンピック関連の事業実施数	事業	7	3	20(H32)

事務事業名 広報さんむ作成・発行事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 90

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内全世帯 市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民目線の広報紙を製し、市内全戸配布することで、市政や行事等に関する情報が広く周知されています。
--

事務事業の内容、やり方、手順

市内の全世帯に配布する広報紙を製し発行します。市民と協働で広報紙を製します。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
発行回数	回	12	12	12
成果状況				
印刷部数	部	240,000	288,000	240,000
広報紙を読んでいる市民の割合	%	86.9	91.8	90

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	12,401	22	0	0	1,008	11,371	
03年度 実績	13,869	22	0	0	1,240	12,607	
04年度 当初	22,523	22	0	0	817	21,684	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 広報紙を読んでいる市民の割合は、91.8%で、令和2年度より4.9%増加しており、順調です。
<原因> その理由としては、令和3年度から広報紙の配布方法を全戸配布へ変更したことで、増加につながったものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	86.9	91.8	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	86.5	87.7	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	466,639	400,468	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	209	144	215

事務事業名 ホームページ運営事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 91

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
山武市の情報を得ようとする人

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市政や行事等に関する情報が広く周知されています。
市の魅力が広く発信されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市民等に対し、電子媒体により条例や規則、市の施策、行事等に関する事などを掲載しています。
担当課が告知内容を作成し、各課で掲載。秘書広報課では内容を定期的に確認しています。また、PRしたいイベントなどを画像を使って目立つように周知したり、ホームページのカテゴリー構造などをチェックしています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
更新件数（更新申請件数）	件	0	0	0
承認件数	件	1,681	1,177	1,700
成果状況				
市ホームページへのアクセス件数	件	466,639	400,468	470,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,097	0	0	0	320	777	
03年度 実績	1,097	0	0	0	240	857	
04年度 当初	1,097	0	0	0	240	857	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ○ 順調 ● 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ○ 維持・横ばい ● 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
ホームページのアクセス件数は、前年度より、66,171件減少しています。
＜原因＞
ホームページの更新回数の減少が理由の一つとして考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	86.9	91.8	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	86.5	87.7	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	466,639	400,468	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	209	144	215

事務事業名 さんむの魅力発信事業

総合政策部 秘書広報課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	01	基本事業名	情報発信力の充実	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2118

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民、市外在住者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

山武市の知名度や魅力度などが向上することで山武市への関心を惹起し、観光等来訪者、関係人口及び移住者の増加が図られます。また、市民のシティプライドの醸成が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

様々な媒体を通じて市の魅力を発信します。

- ・ SNS（LINE、Twitter、Youtube）
- ・ TV、ラジオ等
- ・ 新聞、雑誌等
- ・ 広告（チラシ、デジタルサイネージ等）
- ・ 安心安全メール

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
情報発信に利用した媒体数		7	6	6

成果状況				
Twitterフォロワー数		212	404	400
Youtubeチャンネル公開動画視聴回数		10,678	51,899	7,700

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	4,796	0	0	0	0	4,796	
03年度 実績	1,808	0	0	0	1,722	86	3,256
04年度 当初	1,632	0	0	0	0	1,632	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
令和3年度のTwitterフォロワー数は、前年度から192人増加、YouTubeチャンネル公開動画視聴回数は、41,221回増加し、順調です。

<原因>
その理由として、JALと共同で制作した市内商店等のプロモーション動画等、話題性のある動画の投稿やツイートを行ったことで、視聴回数が大幅に増加したものと考えます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
広報紙を読んでいる市民の割合	%	86.9	91.8	90
広報紙が分かりやすいと思う市民の割合	%	86.5	87.7	90
市ホームページアクセス件数	アクセ	466,639	400,468	728,000
まちの魅力の各種メディア掲載件数	件	209	144	215

事務事業名 議会だより作成事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	03	基本事業名	議会情報の公開の推進	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 668

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

議会の審議状況や議員活動について市民に解りやすく伝えることにより、議会への関心がより高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

・議会の活動状況を広く市民に周知するため、議会だよりを定例会ごとに発行し全世帯に配布するとともに、市ホームページにも掲載します。
仕様：A4版16ページ、4色カラー印刷
配布方法：全戸にポスティング配布
・編集委員会の目的
内容を精査し、市議会及び議員の活動状況を市民にわかりやすく伝えます。
他市の議会報を参考にして、よりよい議会だよりになるようにします。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
議会だより配布部数(1回あたり)	部	18,800	23,500	22,000
議会だより編集委員会の開催回数(年間)	回	3	4	4
成果状況				
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	39.2	47.1	47
議会だよりを読んでいる職員の割合	%	71.4	73	70

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	2,323	0	0	0	0	2,323	
03年度 実績	3,169	0	0	0	0	3,169	
04年度 当初	4,505	0	0	0	0	4,505	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
議会だよりを読んでいる市民の割合は前年度より7.9ポイント増加、職員の割合は1.6ポイント増加しており、順調です。
＜原因＞
令和3年度から配布方法を新聞折込からポスティングによる全戸配布へ変更しました。多くの市民に議会だよりが届いたことで議会への関心も高まり、読者の増加につながったと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	39.2	47.1	47
傍聴人数	人	62	73	140
議会インターネット中継アクセス件数	件	1,409	2,003	2,800

事務事業名 議会改革推進事業

議会事務局 議会事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	02	施策名	開かれた市政とまちの魅力発信	
基本事業番号	03	基本事業名	議会情報の公開の推進	
計画年度	平成 28 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1964

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市議会議員 市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

先進地の議会改革の内容を調査・研究することにより、議会改革の取り組みが進みます。 議会の情報を公開することにより、透明性を確保し、議会に対する市民の理解と信頼が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

・議会改革先進事例の提供 議会改革の参考となる先進地の事例を、議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。 ・議会運営効率化・公開に関する支援 議会運営に係る事務の効率化、経費削減及び審議内容公開等に関して議会の依頼に応じて有益な情報を調査・提供します。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
議会改革に係る調査・情報提供件数	件	1	1	1
成果状況				
議会改革として取組をすることになった件数	件	1	1	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>議会改革として取組をすることになった件数は、1件で令和2年度と同じです。 <原因>議員定数検討委員会の設置に伴い、定数に関する調査研究を行ったことで、議員定数の削減が決定され、議会改革の取組が進みました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
議会だよりを読んでいる市民の割合	%	39.2	47.1	47
傍聴人数	人	62	73	140
議会インターネット中継アクセス件数	件	1,409	2,003	2,800

事務事業名 行政評価制度推進事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	01	基本事業名	行政経営の推進	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 127

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・総合計画に定める体系（政策－施策－基本事業－事務事業） ・職員 ・市民
--

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・総合計画の進行管理が行えるようになります。 ・行政評価制度を理解し、事務や事業の分析・改善を効果的に行う職員が増えます。 ・事務事業評価、施策・基本事業評価の結果を活用して、適切な資源配分が行われます。
--

事務事業の内容、やり方、手順

総合計画の施策・基本事業及び事務事業に目的達成度を表す成果指標と目標値を設定・評価し、その結果に基づくPDCAのマネジメントサイクルを回して、費用対効果の高い事業への資源配分、結果重視の行政運営を目指し事業を実施します。 【令和3年度】事務事業と施策・基本事業とを連動させることでさらなる推進を図ります。 4月 まちづくりアンケートの実施 4月～6月 施策基本事業評価・事務事業評価（SPリングレビュー） 7月～ 事務事業評価（サマレビュー） 9月～ 成果志向型予算編成の実施 12月 まちづくり報告書 事務事業評価報告書策定 2月 実施計画書の策定
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
説明会・研修会の実施回数	回	2	2	2
評価・点検を実施した事務事業数	事業	195	114	300
成果状況				
行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合	%	57.2	55.5	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	5,521	0	0	0	0	5,521	
03年度 実績	10,606	0	0	0	0	10,606	
04年度 当初	11,754	0	0	0	0	11,754	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>令和3年度の「行政評価制度を理解し、事務事業を行っている職員の割合」は55.5%で、前年度と比較して1.7ポイント減少しました。 <原因>職員説明会や行政評価に係る研修について、感染症予防対策のため、一部を対面実施からグループウェア活用による書面開催に切替えたことで、指標値が減少したと考えます。対面以外の開催方法でも高い理解が得られる工夫が必要です。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
基本事業の目標達成率	%	36.7	39.6	70
PDCAサイクルを意識している職員の割合	%	57.2	55.5	66.7

事務事業名 職員研修事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 17

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

多様化、高度化する行政ニーズに対し的確に対応する職員を育成します。

事務事業の内容、やり方、手順

- (1)研修機関で実施する研修
①山武都市広域行政組合
②千葉県自治研修センター
③市町村アカデミーなど
- (2)内部研修
①年間2回の内部研修
②年4回の自己啓発研修
③新規採用職員等研修など
- (3)自己研鑽研修
所属部署の業務を離れて、先進事例を研究するための先進自治体への視察研修（2人以上のグループによること）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
実施する研修の数	回	37	47	44

成果状況				
職員一人当たりの研修受講回数	回数	0.4	0.8	1.5
多様化、高度化する行政ニーズに対し的確に対応できる職員が育成されていると思う職員割合	%			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	885	0	0	0	6	879	
03年度 実績	898	0	0	0	0	898	
04年度 当初	3,428	0	0	0	150	3,278	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>職員一人当たりの研修受講回数は、令和2年度より0.4ポイント上昇しています。

<原因>新型コロナウイルス感染予防のため、令和2年度は研修の中止や受講者数の調整、内部研修でも自己啓発研修を中止したため受講者数が減少したが、令和3年度は以前ほどではないが、研修回数が増加し、受講人数調整が緩和され、内部研修も実施したことから受講者数が増加したためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	71.6	69.1	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	82.4	77.1	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.4	93.7	95

事務事業名 人事評価事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	平成 20 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 18

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員（一般職）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

職員自身の発揮した能力や業績に応じて、職員が納得した公正公平な評価がなされます。

事務事業の内容、やり方、手順

職員が職務を通じて発揮した能力、あげた業績を的確に把握し、公正に評価することで、職員の人材育成、適材適所の任用、適切な給与処遇の実現を目指します。

主な取組み

- ・人事評価の精度を向上させるため、各種研修会を実施します。
- ・目標設定及び評価調整会議及び期首期末面談等を行い人事評価の精度向上を図り、評価結果を処遇に反映させていきます。
- ・評価者と被評価者の面談を通じて課内のコミュニケーションを促進し、変化、改革を求められる時代のニーズにチーム対応していきます。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
研修会開催回数	回	2	1	3

成果状況				
人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合	%	89	88	82
人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合	%	52	49	66

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初	220	0	0	0	0	220	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>人事評価制度の仕組みや制度を理解している職員の割合は、令和2年度より1ポイント低下し、人事評価制度が適正に運用されていると思う職員の割合が3ポイント低下しました。

<原因>人事評価制度の仕組みや制度の理解は、研修や目標設定度調整会議等の実施により、維持していると考えられます。適正運用については、公平な評価となるよう引き続き調整会議にて評価の適正化に努めます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	71.6	69.1	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	82.4	77.1	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.4	93.7	95

事務事業名 組織体制見直し事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 23

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

- ・市が直面する喫緊の課題に機動的に対応できます。
- ・市民に対して効率的な行政サービスが提供できます。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・現状の課題点の洗い出しを行います。
- ・組織改編に向けて各部署のヒアリング実施します。
- ・大幅な組織の見直しを行う際は、組織モデル案を作成し、庁議及び議会へ報告します。
- ・関係する例規を整備します。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

組織体制見直しに係る打合せ回数

単位	02年度	03年度	04年度
回	21	11	1

成果状況

組織及び事務分掌の見直し回数

回	1	1	1
---	---	---	---

効果的効率的な組織編制（課や事務分掌）ができていると思う職員の割合

%	66.8	61.4	70
---	------	------	----

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>効果的効率的な組織編制ができていると思う職員の割合は、前年度比5.4ポイント低下しました。
<原因>令和3年4月1日付で組織の大幅な見直しを実施したことに対する職員の評価であると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	71.6	69.1	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	82.4	77.1	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.4	93.7	95

事務事業名 定員適正化推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1089

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

定員適正化計画に基づき定員管理の適正化が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

・総合計画を具体的に実行していくための効率的な組織運営を進めます。
・事務事業の委託化、指定管理者制度の導入等を推進し定員の適正化を図ります。
・定員適正化計画に基づき、「類似団体別職員数の状況」を活用し、計画的な職員採用や定員管理に努めます。
●スケジュール
4月 退職勧奨制度の周知
5月 職員採用計画
6月 地方公共団体定員管理調査
9月 人事に関する各部・各課ヒアリング
3月 職員配置の決定

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
各部・各課ヒアリング回数	日	6	7	6
成果状況				
定員適正化計画の定員数と職員数の差	人	4	7	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 令和3年度の定員適正化計画の目標定員451人に対し、実績は444人で、7人少ない状況となっています。
<原因> 主な理由として、年度内退職者が発生したことにより、退職者不補充となったことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	71.6	69.1	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	82.4	77.1	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.4	93.7	95

事務事業名 ワークライフバランス推進事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	02	基本事業名	人材育成と効率的な組織運営	
計画年度	平成 28 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1962

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

仕事と家庭生活の調和のとれた働きやすい職場環境の整備し
全ての職員が持てる力を職務遂行に十分発揮し活躍できるよ
うにします。

事務事業の内容、やり方、手順

- ・年次休暇、夏季休暇、男性の育児参加休暇等の取得推進。
- ・ノー残業デーの設定定着の推進。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

休暇・休業制度に関して行った通知等の回数

単位

回

02年度

4

03年度

4

04年度

4

成果状況

年次休暇の平均取得日数

日

11

11.1

10

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ● 非常に順調 ○ 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 年次休暇の平均取得日数は、令和2年度から0.1日増加しています。

<原因> 年次休暇取得促進の通知により平均取得日数が昨年度並みに維持していると考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
部署内外の連携が十分に図られていると感じる職員の割合	%	71.6	69.1	78
能力が十分発揮され実績が評価されていると思う職員の割合	%	82.4	77.1	85
研修により資質の向上が図られていると思う職員の割合	%	92.4	93.7	95

事務事業名 指定管理者指定事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	平成 18 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 130

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

公の施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正な審査が行われ、適正な指定管理者が選定されています。

事務事業の内容、やり方、手順

公の施設を管理する部署からの希望により、指定管理者選定委員会を開催し、選定基準により指定管理候補者の選定を行いました。
【令和3年度実績】
下記施設について、指定管理者の指定を行いました。
・福祉作業所（3ヶ所）
・簡易マザーズホーム
・山武福祉センター
・成東老人福祉センター
・ふれあいデイサービスセンター

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
選定委員会開催数	回	2	2	2
成果状況				
指定管理者制度導入施設数	施設	21	21	21

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	56	0	0	0	0	56	
03年度 実績	56	0	0	0	0	56	
04年度 当初	56	0	0	0	0	56	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞指定管理者制度を導入している施設数は、21施設を維持しています。
＜原因＞新たに指定管理者制度導入を希望する施設はありませんでしたが、令和3年度更新対象であった、福祉作業所、簡易マザーズホーム、山武福祉センター、成東老人福祉センター、ふれあいデイサービスセンターの指定が更新されたためです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
経常収支比率	%	92.6	89.4	90
実質公債費比率	%	7.9	6.6	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.02	78.47	77

事務事業名 予算管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 155

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計、特別会計及び企業会計

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市会計の予算が適正に編成されるとともに、適正に執行されています。

事務事業の内容、やり方、手順

市の当初予算及び補正予算等を編成し予算書を作成するとともに、財務会計システムにより予算の執行管理を行いました。予算編成にあたっては、総合計画の重点分野及び公共施設等総合管理計画を基とした資源配分の選択と集中により、財政健全化と政策推進のバランスをとる総合計画成果志向型予算編成により適正な予算を編成しました。

8月 投資的事業の要求内容確認（サマーレビュー）
9月 予算仮要求（経常的経費、投資的事業）
10月 予算要求説明会、予算本要求
11月 資源配分会議等による予算の調整
12月 市長査定
2月 予算案を議会に提出

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

評価・点検をした事務事業数

単位	02年度	03年度	04年度
事業	195	300	300

成果状況

当初予算額（特定財源を含む）

百万円	23,100	23,856	23,700
-----	--------	--------	--------

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>当初予算額（特定財源含む）は、昨年度より756百万円増加しましたが、予定されていた事業の実施によるものであり、順調です。
<原因>松尾小学校新校舎整備事業や松尾駅周辺排水対策事業など、継続費を設定し計画的に進めている支出額の大きい事業を実施したためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
経常収支比率	%	92.6	89.4	90
実質公債費比率	%	7.9	6.6	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.02	78.47	77

事務事業名 基金管理事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	03	基本事業名	健全な財政運営	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 159

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

財政調整基金
その他の基金

事務事業の内容、やり方、手順

各種基金を計画的に有利な条件で運用し、利子の積み立てを行いました。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

安定した財政運営のため、予算不足を調整する目的として基金が積み立てられています。
また、庁舎整備の財源として利用することを目的とした基金等が積み立てられています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
基金取崩し額（単年度）	百万円	818	1,034	1,451
基金積立額（単年度）	百万円	954	1,774	316
成果状況				
財政調整基金残高	百万円	5,840	5,713	4,935

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	384,971	0	0	0	97,311	287,660	
03年度 実績	1,324,604	0	0	0	111,159	1,213,445	
04年度 当初	116,945	0	0	0	101,007	15,938	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かつこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>財政調整基金残高は、当初の見込みより942百万円増加し、順調です。
<原因>新型コロナウイルス感染症の影響による事業の縮小・中止などにより、繰入額が減少したためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
経常収支比率	%	92.6	89.4	90
実質公債費比率	%	7.9	6.6	9
経常経費に占める一般財源の割合	%	78.02	78.47	77

事務事業名 市税等徴収事務事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 250

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ①市税（市県民税（普通徴収）、固定資産税、軽自動車税）の納税義務者
②収納金融機関・ゆうちょ銀行及びコンビニエンスストア

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市税の収納を効率的かつ適正に処理をするとともに納付機会が拡大し、納税者の利便性が高まります。

事務事業の内容、やり方、手順

・納税義務者に納付機会の拡大を推進しました。（口座振替やコンビニエンスでの納付）

・収納管理については、現年度分で納期限経過後、未納者に督促状を発送し納付を促進しました。

- ①当初納税通知書に口座振替利用申込書及びコンビニエンス納付のご案内を同封しお知らせしました。
②防災行政無線及び広報さんむ等で周知しました。
③納税義務者が口座振替及びコンビニ納付した場合の手数料は無料です。

事業活動と成果

活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

納期内納付啓発回数

口座振替、コンビニエンスストア納付手続きのお知らせ者数

成果状況

督促状発送件数

口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合

単位	02年度	03年度	04年度
回	12	12	12
人	44,631	45,755	55,000
件	21,512	20,456	20,000
%	58	64.5	65

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	9,847	0	0	0	0	9,847	
03年度 実績	10,920	0	0	0	0	10,920	
04年度 当初	12,240	0	0	0	0	12,240	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞前年度と比較して、督促状発送件数は1,056件減少し、口座振替・コンビニエンスストア納付による市税収納割合は6.5ポイント増加しました。
＜原因＞広報さんむ及び市ホームページ等において口座振替等による納付を啓発したこと及びスマートフォン決済アプリによる納付を導入したことにより、口座振替・コンビニエンスストア納付の件数が前年度と比較して515件増加し、市税収納率が向上した結果、督促状発送件数が減少したものと考えます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市税収納率	%	97.58	98	98.53

事務事業名 債権回収事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	平成 24 年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 1613

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・市税以外の公債権（法人市民税含む。）及び私債権滞納者（徴収困難なもの及び滞納が高額となっているもの）
- ・市職員

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市税以外の公債権（法人市民税含む。）及び私債権の納付が促進されています。

事務事業の内容、やり方、手順

- 滞納者への債権回収（移管等によるもの）に取り組みました。
- ・各債権の移管協議の実施（2回）
 - ・財産調査（2118件）、差押（11件）
 - ・催告（137件）、臨戸（28件）、納付相談（125件）の実施
 - ・支払督促等法的措置の実施（23件）
 - ・債権所管課への実務指導（24回）
- 職員のスキルアップと全庁的な債権回収に取り組みました。
- ・研修会の開催（4回）
 - ・債権管理連絡調整会議、事務担当者会議の開催（4回）
 - ・職員対象の債権回収相談業務、指導調整業務実施（24回）
 - ・例規の制定改正（1件）及びマニュアルの整備（随時）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
財産調査、状況調査の件数	件	974	2,118	0
研修会及び会議開催回数	回	5	8	0
成果状況				
差押、法的措置件数	件	42	34	0
事務移管対象債権数	件	19	19	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	93	0	0	0	0	93	
03年度 実績	51	0	0	0	0	51	
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>R2年度と比べ差押・法的措置件数が8件減少していますが、移管金額に対する収納率は15.36%と、R2年度から5.09ポイント上昇しており順調です。

<原因>差押・法的措置件数の減少は、移管件数の減少（131件→114件）が影響しているものと考えられます。収納率の上昇は、支払督促をはじめ法的手続の積極的な利用、そして徹底した財産調査のもと差押を実行したことによるものと考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市税収納率	%	97.58	98	98.53

事務事業名 法的債権回収事業

市民部 収税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	04	基本事業名	税収の確保	
計画年度	平成 27 年度 ～ 令和 03 年度			事務事業整理番号 1821

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

非強制徴収公債権滞納者 私債権滞納者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

非強制徴収公債権及び私債権の納付が促進されています。

事務事業の内容、やり方、手順

自力執行権を有しない非強制徴収公債権及び私債権の回収業務を弁護士に委託しました。 事業内容 ・弁護士名で滞納者に対して催告書を発送（17件） ・納付相談（弁護士との個別面談）を行い適切な助言や納付交渉を行うと共に納付相談を踏まえ、債務者の生活状況から、本人に見合った適切な回収の方向性を判断（2件） ・債権管理の専門的な助言や指導（15件） ・弁護士法に基づく債務者の財産調査、所在調査（0件） ・特に困難な案件の訴訟代理人の受任（0件）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
催告書発送件数	件	28	17	0
納付交渉件数	件	3	2	0
成果状況				
回収金額	千円	869	1,146	0
分納による回収見込額	千円	7,670	8,661	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,432	0	0	0	0	1,432	
03年度 実績	928	0	0	0	0	928	
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>R2年度と比べ、回収金額が31.9%、事務移管による回収見込額が12.9%増加し順調です。 <原因>弁護士催告・相談、支払督促及び支払請求訴訟の結果、分納につながった案件が4件増えたことから、回収金額が増加したものと考えられます。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市税収納率	%	97.58	98	98.53

事務事業名 学校等跡地利活用検討事業

総合政策部 企画政策課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	令和 02 年度 ～ 令和 04 年度			事務事業整理番号 2076

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

閉校となる小中学校等の跡地施設（校舎・運動場等）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

閉校となる小中学校等の跡地施設について、有効活用が図られます。

事務事業の内容、やり方、手順

学校等の跡地利活用にに向けて、次により検討

- ・山武市学校等跡地の利活用方針を策定
- ・プロジェクト会議による検討（企画政策課が事務局となり、財政課、教育総務課を主体とした検討体制）
- ・文部科学省が所管する「みんなの廃校プロジェクト」や千葉県商工労働部企業立地課が所管する「空き公共施設等を活用した企業進出支援事業」を活用し、利活用方法等の募集や企業の誘致を検討

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
学校等跡地利用の周知PR回数	回	2	5	4
学校等跡地利用希望者との相談回数	回	34	29	16
成果状況				
学校等跡地利用希望者からの照会件数	件	24	20	8
学校等跡地の利活用者の決定件数	件	1	2	1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	7	0	0	0	0	7	
03年度 実績	222	0	0	0	0	222	
04年度 当初	17,086	0	2,656	0	0	14,430	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
旧日向小学校と旧蓮沼幼稚園の2校について、公募型プロポーザル方式により優先交渉権者が決定されました。

<原因>
学校等跡地の利活用方針及び個別の計画を定め、地域住民への説明等順を追って計画的に事務を進めたことが要因として考えられます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	46.6	49.1	50
公共施設維持管理費	万円	215,556	165,221	192,000

事務事業名 本庁舎整備事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	平成 23 年度 ～ 令和 07 年度			事務事業整理番号 1471

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

本庁舎施設、施設利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

本庁舎に機能が集約され、円滑かつ効率的な行政事務が行われると共に、施設利用者の利便性が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

施設利用者の利便性向上のため、本庁舎施設の環境整備を行います。また、本庁舎施設の老朽箇所や不良箇所の整備を計画的に行うことで、本庁舎施設の省エネ化や長寿命化を図ります。

平成27年度 本館空調設備改修工事
平成28年度 本庁舎駐車場等整備工事（新設）
本庁舎駐車場等整備工事（既存）等
令和元年度 電話設備機器改修工事
令和3年度 喫煙所設置工事（繰越明許）
本庁舎受変電設備等改修工事

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
打ち合わせ回数	回	0	12	4
成果状況				
整備した面積	m ²	0	82.8	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	135,426	0	0	128,600	6,826	0	
04年度 当初	4,488	0	0	4,200	0	288	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
施設利用者が安全に本庁舎施設を利用することが出来るよう、老朽箇所の改修を行い施設環境の整備を図っています。

<原因>
本庁舎施設の長寿命化を図るため、耐用年数を超過した受変電設備等を改修したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	46.6	49.1	50
公共施設維持管理費	万円	215,556	165,221	192,000

事務事業名 公共施設マネジメント事業

総務部 財政課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 24 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 1731

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市が保有する公共施設

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・継続的に公共施設情報が管理・更新されています。
・公共施設の現状や将来見込まれるコストの見通し等が把握できています。
・将来の需給バランスを踏まえた公共施設のあり方や方向性が検討されています。

事務事業の内容、やり方、手順

社会経済状況の変化等に対応した見直しが強くと求められる公共施設に対し、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れ、総合的かつ長期的に計画、管理活動を行うことで、公共施設の「最適なストック量」と「最適な管理運営」を実現します。
【事業内容】
平成28年度～平成30年度 保全情報システム更新・運用
平成30年度～令和2年度 公共施設個別施設計画策定
令和3年度 公共施設等総合管理計画改訂

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
維持管理費削減に係る取組数	件	87	87	87
成果状況				
公共施設維持管理費	千円	2,155,561	1,652,210	1,652,210

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,166	0	0	0	0	1,166	17,237
03年度 実績	7,711	0	0	0	0	7,711	
04年度 当初	1,166	0	0	0	0	1,166	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 公共施設維持管理費は前年度より503,351千円減額しました。
<原因> 主な要因としては、日向小学校及び山武西小学校が令和3年3月31日に閉校したことによるものです。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	46.6	49.1	50
公共施設維持管理費	万円	215,556	165,221	192,000

事務事業名 さんぶの森交流センターあららぎ館施設管理事業

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進
計画年度	平成 22 年度 ～ 年度		事務事業整理番号 1198

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市民
さんぶの森交流センターあららぎ館

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

市民や市民活動団体の活動する場が確保され、自主的な活動が活発になります。
適切な施設管理がされ、安全かつ快適に利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

（施設の概要）
・多目的室：1（やまゆり）、2（のぎく）、3（ひまわり）、4（ききょう）、5（あかぐも）、6（りんかん）
合計6室
・調理実演室
・ジャイアントシェルトー棟
・駐車場
・開館時間：午前9時から午後5時まで
・休館日：毎週月曜日、年末年始（12月29日～1月3日）、臨時休館日
・施設利用の受付は直営で対応し、維持管理については、業者委託で対応しています。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
交流センター利用回数	回	345	440	330
成果状況				
交流センター利用者数	人	4,448	5,937	8,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	13,170	0	0	0	223	12,947	
03年度 実績	11,933	0	0	0	217	11,716	
04年度 当初	10,062	0	0	0	232	9,830	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
利用回数は前年度と比較して95回、利用者数は1,489人増加しました。
＜原因＞
新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言に伴う、あららぎ館施設の休館や利用制限が前年度より少なかったため、利用者数が増加しました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	46.6	49.1	50
公共施設維持管理費	万円	215,556	165,221	192,000

事務事業名 蓮沼出張所管理運営事業

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	05	基本事業名	公共資産の適正化とファシリティマネジメントの推進	
計画年度	平成 20 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 180

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

施設利用者、蓮沼出張所

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

施設の適切な維持管理が行われ、安心して利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

蓮沼出張所の維持管理業務を行います。

消防設備保守点検委託
清掃委託（日常清掃・床及び窓ガラス清掃）
自動扉保守点検委託
貯水槽清掃委託
警備委託
浄化槽管理委託
空調機器清掃委託

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
庁舎施設の修繕件数	数	6	7	2
成果状況				
庁舎施設の不具合件数	数	6	7	2
トラブル件数	数	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	5,173	0	0	0	121	5,052	
03年度 実績	4,671	0	0	0	33	4,638	
04年度 当初	4,172	0	0	0	31	4,141	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
第2多目的室雨漏り、空調設備、貯水槽設備、自動ドア、消防設備の不具合の計7件の修繕を行いました。
＜原因＞
昭和62年竣工の施設のため、経年劣化により修繕が発生しました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市保有の土地活用率	%	46.6	49.1	50
公共施設維持管理費	万円	215,556	165,221	192,000

事務事業名 電子自治体構築事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	06	基本事業名	情報化の推進と適正管理	
計画年度	平成 21 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1157

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

基幹系システム 市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

基幹系システムが安定稼働しています。 市民がコンビニ等で税金等を納められます。
--

事務事業の内容、やり方、手順

・基幹系業務（住民基本台帳、税、国保等）のシステム運用及び機器の保守を行いました。	
令和 4 年 1 月	団体内番号連携サーバ更新
2 月	住基・税システムの更新（自治体クラウド）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
職員・業者との会議回数	回	20	50	50
システム、機器保守点検件数	件	385	246	300
成果状況				
コンビニ等で納付できる種類（税、料の公金の項目数）	種類	6	6	6
障害発生件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	62,358	3,267	0	0	0	59,091	
03年度 実績	39,574	1,064	0	0	0	38,510	
04年度 当初	17,282	0	0	0	0	17,282	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜成果＞ 障害発生件数は0件でした。
＜原因＞ 日々の点検、予防的保守により障害発生を回避することが出来ました。また、令和4年2月に自治体クラウドに移行し、データセンター管理となり、ハードウェア24時間監視となったことから、より可用性が高まりました。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
市のICTサービスを利用している市民割合	%	43.1	46.5	31
主要情報システムの予期せぬ停止時間（年間）	時間	0.5	0	0

事務事業名 例規・法制支援事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	03	施策名	計画的・効率的な行財政運営	
基本事業番号	99	基本事業名	施策の総合推進	
計画年度	平成 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1476

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

職員、市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

例規の制定改廃にかかる職員の事務の合理化、省力化を図ります。
条例・規則等の制定、改正等を適正に行い、事務の公正の確保と透明性の向上を図ります。

事務事業の内容、やり方、手順

○例規立案、例規集の作成及び既存例規データ更新等に関する業務を委託により実施します。
（業務内容）
制定改廃した例規を既存の例規集に溶け込ませ、データベースを更新する。（年4回）
法令・判例情報の提供（随時）
法制執務に係る相談（随時）
例規起案ソフトによる例規立案支援（随時）
○市が行う各種行政手続について、標準処理期間や申請書、必要添付書類等の整理を行います。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
例規データベース更新回数	回	4	4	4
例規制定改廃件数	件	311	220	150
成果状況				
例規データ更新スケジュール順守率	%	100	100	100
例規改正漏れ件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	4,334	0	0	0	0	4,334	
03年度 実績	4,331	0	0	0	0	4,331	
04年度 当初	4,325	0	0	0	0	4,325	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>例規データ更新スケジュール順守率は100%でした。
<原因>最新法令の情報収集や例規改正手続など、例規支援システムの活用によって効率的に事務が進められているものと考えられます。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値

事務事業名 出納係事務費

会計課 会計課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	01	基本事業名	適正な会計処理	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 666

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・債権者 ・会計業務

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

債権者に対する公金の支払いが確実に Rowe れます。

事務事業の内容、やり方、手順

支出負担行為の確認及び支出命令の審査を行い、適正な会計処理を行い、口座振替払では、「パソコンバンクサービス（振込データ等の伝送）」を利用し支払いの手続きを行います。 【振込処理不能が発生した場合の処理】 （指定金融機関）→振込組戻通知書→（会計課）→連絡→（所管部署） ①同日13時までには正当な債権者情報が確認できたものは、指定金融機関に対し再振込の依頼を行います。 ②確認ができないものは、戻入の手続きを行い、再振込の手続きを行います。
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
口座振替期日における指定金融機関からの振込不能返却報告書に基づく債権者への振込不能件数	件	227	180	180
口座振込不能により資金返却された件数のうち、同日に再振込の措置を講じ、正当債権者に支払が行われた件数	件	149	132	148
成果状況				
口座振込支払期日における振込不能件数に対する資金返却同日に再度振込し債権者に支払うことができた件数の割合	%	66	73	82
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	10,575	0	1,503	0	96	8,976	
03年度 実績	10,799	0	1,513	0	143	9,143	
04年度 当初	11,328	0	1,250	0	119	9,959	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

①活動進捗状況	☐ 非常に順調	☒ 順調	☐ 一部遅延あり	☐ 遅延あり
②事業成果状況	☐ 向上	☒ 維持・横ばい	☐ 低下	

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>再度振り込みをし、支払うことができた件数の割合は、前年度より7ポイント向上しました。 <原因>口座情報を登録後、内容を複数の職員で確認し、指定金融機関へ依頼しています。また、振込不能返却報告書が随時ファックスで連絡されており、所管部署が正当な債権者情報を確認する時間が多くとれるようになっています。令和3年度は、新型コロナウイルス感染症経済対策で行われた住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金の支給があり、金融機関との契約による制限のため同日振り込みができず、再振り込み件数の割合が当初の予定より減少していますが、一時的なものと思われます。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
口座振替支払期日における支払不能件数	件	59	34	43

事務事業名 監査委員事務局事務費

監査委員事務局 監査委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 683

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

事務局の監査庶務事務

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

適正かつ円滑に監査事務等が処理されています。

事務事業の内容、やり方、手順

監査等に関する次の事務を行います。
・監査委員並びに関係各課等との連絡調整
・監査等の結果の報告、公表
・監査等の参考資料収集
・その他庶務

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
監査委員との打ち合わせ回数	回	31	35	30
事務局内打ち合わせ回数	回	31	35	30
成果状況				
手続きミス及びトラブル発生件数	件	0	0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	320	0	0	0	0	320	
03年度 実績	416	0	0	0	0	416	
04年度 当初	484	0	0	0	0	484	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
監査委員や事務局内の打ち合わせ回数は、35回となりました。手続きミス及びトラブル発生件数も目標値を達成し、順調です。
＜原因＞
監査等の実施前は、事務局内及び監査委員と綿密な打ち合わせを行い、共通の認識を持って監査等に臨みました。全国統一基準に向けた監査等を実施したため、相当程度の打ち合わせが必要となりました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
監査による指摘事項などの措置率	%	100	100	100

事務事業名 監査委員活動費

監査委員事務局 監査委員事務局

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	03	基本事業名	監査の充実	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 684

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

一般会計
特別会計
企業会計
市役所全部署

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

監査業務が適正かつ計画的に行われます。

事務事業の内容、やり方、手順

山武市監査計画に基づき、各監査等を実施します。

- 1 例月現金出納検査…現金の残高や出納事務が適正に行われているかを主眼として実施（毎月25日）
- 2 決算審査、基金運用状況審査…決算の計数の正確性や事業の経営が適正かを検証（企業会計6月、一般会計及び特別会計7月）
- 3 財政健全化審査及び公営企業経営健全化審査…健全化判断比率が適正かを主眼に実施（8月）
- 4 定期監査…財務の執行や事業の管理が適正かを主眼として実施
- 5 工事監査…技術面の調査を技術士に委託して実施（随時）

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
監査等を実施した件数	件	4	5	5
成果状況				
指摘事項等の件数	件	41	54	54
計画に対する監査等実施率	%	80	100	100

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
03年度 実績	1,092	0	0	0	0	1,092	
04年度 当初	1,092	0	0	0	0	1,092	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>監査等を実施した件数は目標値を達成し、計画に対する監査実施率は100%となりました。指摘事項等の件数は54件となり、目標値を達成することができませんでした。

<原因>監査計画に基づき、入念に準備し監査を実施しました。指摘事項等の件数は増加しましたが、監査等により是正すべき点を明確にすることにより、事務が適正に行われるようになります。なお、指摘事項等は、すべて措置が講じられています。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
監査による指摘事項などの措置率	%	100	100	100

事務事業名 受付案内事業

総務部 総務課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	令和 02 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 2138

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

成東庁舎の来訪者に庁舎内を案内します。

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

成東庁舎の来訪者が迷うことなく目的の部署に行けます。

事務事業の内容、やり方、手順

成東庁舎の来訪者に対し、関係部署を案内する事務になります。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
窓口案内者数	人		13,489	13,500
成果状況				
案内によって生じた苦情件数	件		0	0

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績	1,917	0	0	0	0	1,917	
04年度 当初	1,925	0	0	0	0	1,925	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
成東庁舎の来訪者の案内によって生じた苦情件数は、0件でした。

＜原因＞
案内業務をシルバー人材センターに委託しており、適正に受付案内業務が行われているものと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	81.9	82.9	84

事務事業名 戸籍事務費

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 215

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

戸籍の届出者及び証明書申請者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

来庁目的を的確に把握し、交付証明書及び届出書の行き違いをなくします。

事務事業の内容、やり方、手順

出生・死亡・婚姻・離婚等の届出書の受付・審査、戸籍の証明書発行、犯歴・刑罰・身上照会、公職選挙法に関する事務を行いました。
届出件数1,528件 証明事件数19,564件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

それぞれの届出書件数および証明書交付件数ならびに照会件数

単位	02年度	03年度	04年度
件	22,052	21,092	20,000

成果状況

届出書、交付証明書の不具合件数の割合

%	0	0	0
---	---	---	---

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	438	0	53	0	385	0	
03年度 実績	231	0	47	0	184	0	
04年度 当初	410	0	46	0	228	136	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
届出書及び交付証明書の不具合は発生しておらず順調です。
＜原因＞
聞き取り等により来庁目的を的確に把握することで、行き違いが生じないように努めています。課員は戸籍研修に参加し、自己研鑽に努めました。また、窓口サービス向上の為、業務マニュアルの作成等、業務の改善を行い事務の効率化を図りました。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	81.9	82.9	84

事務事業名 窓口サービス向上事業

市民部 市民課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	平成 28 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 1959

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

窓口サービス利用者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

窓口での手続きの円滑化と時間短縮が図られ、窓口サービスの満足度が向上します。

事務事業の内容、やり方、手順

正確でわかりやすい手続き等を提供するために、住民異動届書の様式を変更し、窓口で正確なご案内が出来るようにしました。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況

窓口サービス向上に係る取組の検討件数

単位

02年度

03年度

04年度

件

1

1

1

成果状況

窓口サービス向上に係る取組の導入件数

件

1

1

1

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績							
03年度 実績							
04年度 当初							

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価

事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞令和3年度の窓口サービス向上に係る取組の導入件数は1件で、住民異動届の様式変更を行いました。
＜原因＞住民異動届の確認事項欄を増やすことで、確認漏れを無くすことにより、正確な事務手続きを行うためです。

貢献する基本事業の成果

成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	81.9	82.9	84

事務事業名 山武出張所事務費

市民部 山武出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 218

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。 ・税金等の収納機関として利用できます。
--

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出 41件 ・諸証明交付 1,557件 ・住民基本台帳に関する届出 468件 ・諸証明交付 3,190件 ・マイナンバーカード発行申請等 486件 ・印鑑登録 271件 ・印鑑証明交付 3,348件 ・国保・後期高齢・年金に関する届出 1,551件 ・各種税関係申請等の收受 602件 ・諸証明交付 1,799件 ・市税等の収納 7,648件 ゴミ袋販売 218件 ・障害者福祉等に関する届出 1,402件 ・児童手当等に関する届出 711件 ・要介護及び要支援認定等に関する届出 424件 ・交通安全共済の申請 233件 ・緑の羽根募金の受付 73件 ・その他の申請及び届出 260件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
窓口サービス取扱件数	件	29,377	24,282	24,000
成果状況				
出張所利用者数	人	24,152	19,399	19,000

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	523	0	0	0	523	0	
03年度 実績	526	0	0	0	526	0	
04年度 当初	541	0	0	0	541	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況> 窓口サービス取扱件数は、前年度と比較して5,095件、利用者数は4,753人減少しています。 <原因> マイナンバーカードを利用した情報連携による証明書交付件数が減少したことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、来庁者が減少したことが考えられます。
--

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	81.9	82.9	84

事務事業名 蓮沼出張所事務費

市民部 蓮沼出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 217

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄の出張所で受けられます。 ・税金等の収納機関として利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出122件 ・諸証明交付687件 ・住民基本台帳に関する届出174件 ・諸証明交付792件 ・マイナンバーカード発行申請等68件 ・印鑑登録75件 ・印鑑証明交付900件 ・国保・後期高齢・年金に関する届出537件 ・各種税関係申請等の収受208件 ・諸証明交付464件 ・市税等の収納921件 ・ごみ袋販売113件 ・障害者福祉等に関する届出254件 ・児童手当等に関する届出188件 ・要介護及び要支援認定等に関する届出164件 ・交通安全共済の申請104件 ・緑の羽根募金の受付22件 ・その他申請及び届出155件
--

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
窓口サービス取扱件数	件	8,200	5,948	8,164
成果状況				
出張所利用者数	人	6,734	4,914	6,993

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	297	0	0	0	297	0	
03年度 実績	114	0	0	0	114	0	
04年度 当初	182	0	0	0	182	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞ 窓口サービス取扱件数及び出張所利用者数ともに減少傾向にありますが、マイナンバーカード関連や福祉関連業務の相談については、一人当たりの所要時間は増加傾向にあります。 ＜原因＞ 人口減少やコンビニでの納税や証明書交付対応により、出張所利用者数が減少していると思われます。また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、郵送申請が推奨されたことも関係していると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	81.9	82.9	84

事務事業名 松尾出張所事務費

市民部 松尾出張所

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	05	基本事業名	窓口サービスの向上	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 216

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・市民

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

・多種多様な窓口サービスや相談を最寄りの出張所で受けられます。
・税金等の収納機関として利用できます。

事務事業の内容、やり方、手順

・戸籍の届出及び諸証明交付 1,362件
・住民基本台帳に関する届出及び諸証明交付 2,493件
・マイナンバーカード発行申請等 40件
・印鑑登録及び印鑑証明交付 1,782件
・国保・後期高齢・年金に関する届出 1,013件
・各種税関係申請等の收受及び諸証明交付 1,693件
・市税等の収納 4,657件・ごみ袋販売 139件
・障害者福祉等に関わる届出 906件・児童手当等に関する届出 530件
・要介護及び要支援認定等に関する届出 413件
・交通安全共済の申請 278件・緑の羽根募金の受付 32件
・その他の申請及び届出 272件

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
窓口サービス取扱件数	件	17,363	15,610	18,000
	件			
成果状況				
出張所利用者数	人	14,064	12,386	15,000
	件			

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	359	0	0	0	359	0	
03年度 実績	456	0	0	0	456	0	
04年度 当初	372	0	0	0	372	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
- ②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞松尾出張所の窓口サービス取扱件数は前年度と比較して1,753件、利用者数は1,678人減少しています。今年度に限らず、ここ数年窓口サービス取扱件数及び利用者数は減少しています。
＜原因＞新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から窓口で行う更新手続きが延長されたり、交付申請等の手続きについても郵送での対応（本庁へ送付）が多くなっていること、また、マイナンバーカードを利用したコンビニでの諸証明の交付、高齢化や地域住民の減少が原因と思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
窓口サービスの満足度	%	81.9	82.9	84

事務事業名 個人住民税賦課事業

市民部 課税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	06	基本事業名	公平・公正な課税	
計画年度	年度 ～ 年度			事務事業整理番号 233

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に住所を有する個人
市内に事務所、事業所又は家屋敷を有する個人で市内に住所を有しない者

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

公平かつ適正な課税を実施することにより、納税意欲高揚を図り、収納率の向上を目指します。

事務事業の内容、やり方、手順

当該年分の所得に係る所得税確定申告、住民税申告並びに給与・年金支払報告書等の所得等データにより個人住民税を課税しました。
税制改正点について市民へ周知の徹底を図りました。
給与特別徴収納期限 毎月10日
普通徴収第1期納期限 6月末・第2期納期限 8月末
第3期納期限 10月末・第4期納期限 翌年1月末
年金特別徴収については、4月、6月、8月、10月、12月、2月の年金支給時。

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
納税義務者数	人	25,764	25,191	24,400
納税額	千円	2,167,323	2,104,210	2,029,745
成果状況				
審査申し立てによる更正件数	件	0	0	0
市民税収納率	%	97.7	98.05	97

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	10,699	0	10,699	0	0	0	
03年度 実績	10,474	0	10,474	0	0	0	
04年度 当初	11,265	0	11,265	0	0	0	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。カッコ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ○ 向上 ● 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

<状況>
前年度に比べ収納率が0.35ポイント向上しました。
<原因>
公平かつ適正な課税を実施することにより、少しずつ成果が現れてきていると思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りになった件数	件	0	0	0

事務事業名 固定資産税賦課事業

市民部 課税課

政策番号	06	政策名	市民と行政が協働してつくるまちづくり	
施策番号	04	施策名	公正確実な事務の執行	
基本事業番号	06	基本事業名	公平・公正な課税	
計画年度	昭和 23 年度 ～ 年度			事務事業整理番号 236

事業の概要

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

市内に固定資産（土地・家屋・償却資産）を有する納税義務者
（地方税法第343条に基づく）

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいか）

固定資産税が法令に基づき適正で公平な課税が行われています。

事務事業の内容、やり方、手順

土地の現況調査、法務局からの税務通知による異動処理（土地・家屋）、償却資産の申告事務により課税データの整備、賦課を実施します。
土地 233,253筆
家屋 42,764棟
償却資産 1,244人

第1期納期限 5月末日
第2期納期限 7月末日
第3期納期限 9月末日
第4期納期限 12月末日

事業活動と成果 活動状況（活動指標）と成果状況（成果指標）、事業費の推移

活動状況	単位	02年度	03年度	04年度
土地異動処理件数	件	6,330	7,919	7,200
現況調査家屋数	棟	530	408	400
成果状況				
審査申し立てによる更正件数	件	0	0	0
新增築家屋の評価棟数	棟	190	235	200

事業費の推移 単位：千円

年度	事業費	財源内訳					繰越額
		国費	県費	地方債	その他	一般財源	
02年度 実績	4,936	0	0	0	0	4,936	
03年度 実績	5,032	0	0	0	0	5,032	
04年度 当初	5,669	0	0	0	0	5,669	

※繰越額は、当該年度の事業費のほかに、前年度から繰り越され、支出された金額です。かっこ内は、前年度からの繰越額です。

03年度における事業評価 事務事業評価と担当課のコメント

- ①活動進捗状況 ○ 非常に順調 ● 順調 ○ 一部遅延あり ○ 遅延あり
②事業成果状況 ● 向上 ○ 維持・横ばい ○ 低下

成果状況と原因分析に関するコメント

＜状況＞
審査申し立てによる更正件数は0件であり、順調です。
新增築家屋は235棟で、前年度より45棟増加しています。
＜原因＞
土地、家屋の現況調査、法務局からの通知による異動処理、償却資産の申告データの入力を正確に行ったことによるものと思われます。

貢献する基本事業の成果 成果状況（成果指標）

	単位	02年度	03年度	めざそう値
不服申立等により課税誤りになった件数	件	0	0	0

